

山梨市住民意向調査 報告書

平成 22 年 3 月



財団法人 山梨総合研究所

目 次

1. 調査概要	1
① 調査の目的.....	1
② 調査時期.....	1
③ 調査対象.....	1
④ 調査方法.....	1
⑤ アンケート内容.....	1
⑥ 回収結果.....	2
⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について.....	2
2. 回答者の属性（SA）	3
① 性別.....	3
② 年齢.....	4
③ 居住地区.....	5
④ 居住年数.....	6
⑤ 家族構成.....	7
⑥ 職業.....	8
⑦ 通勤・通学先.....	9
3. 山梨市の魅力・住みやすさ	10
① 山梨市の魅力について.....	10
② 山梨市の住みやすさについて.....	11
4. 満足度、重要度等	12
5. 分野ごとの各施策の必要性	14
① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み.....	14
② 産業（農林業・商業・工業）が発展するための取り組み.....	15
③ 観光を盛んにするための取り組み.....	17
④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み.....	18
⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境を作るための取り組み.....	21
⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み.....	24
⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み.....	25
⑧ 今後の行政体制・行政運営に対する取り組み.....	26
6. 市民と行政とのあり方について	27
① 市の窓口サービスについて.....	27
② 今後参加したい公共的な活動.....	28

③ 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について	31
7. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて	32
8. まちづくり指標について	33
9. 男女共同参画について	34

1. 調査概要

① 調査の目的

山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とする。併せて、総合計画に示されたまちづくり指標についても確認する。

② 調査時期

アンケート期間：平成 22 年 1 月 29 日～2 月 12 日

※調査票回収期間は 2 月 24 日まで延長した。

また、記入に際しての基準日は平成 22 年 2 月 1 日とした。

③ 調査対象

20 歳以上の市民 2,000 人を対象とした。

標本抽出方法としては、旧市町村ごとの人口に注目した比例配分法による層化無作為抽出を行った。

④ 調査方法

郵送配布・郵送回収方式

⑤ アンケート内容

大項目	小項目	対応設問	設問数
山梨市の魅力・ 住みやすさ	山梨市の魅力	問 1	1 5
	山梨市の住みやすさ	問 2	1
満足度・重要度	市政に対する満足度と重要度の認識	問 3	各 2 5
分野ごとの各施策の 必要性	環境エネルギー分野	問 4	9
	産業（農林業・商業・工業）分野	問 5	1 1
	観光分野	問 6	1 0
	高齢者福祉分野	問 7	1 1
	次世代育成（子育て）分野	問 8	9
	防災分野	問 9	1 1
	学校教育・生涯学習分野	問 1 0	1 4
市民と行政との あり方	行政体制・行政運営	問 1 1	9
	窓口サービスの向上	問 1 2	1
	今後参加したい公共活動	問 1 3	1
	行財政改革と市民負担	問 1 4	5
山梨市の将来像 と望ましい地域 イメージ	10 年後の山梨市について	問 1 5	1
まちづくり指標	総合計画に示すまちづくり指標について	問 1 6	8
男女共同参画	男女共同参画の認知度、状況について	問 1 7	6

⑥ 回収結果

送付数：2,000

有効回収数：1,290

有効回収率：64.5%

⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

(SA) ……単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。

(MA) ……複数回答 (Multi Answer) の略。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は100%を超える場合があります。

n ……回答者数 (number) をあらわす。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

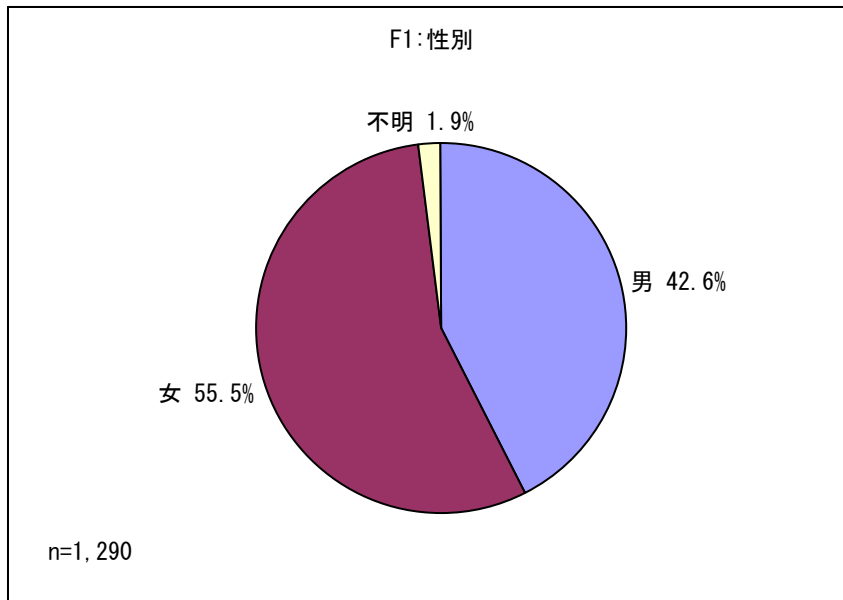
その際の比率は、nを100%として算出しました。

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もあります。

2. 回答者の属性 (SA)

① 性別

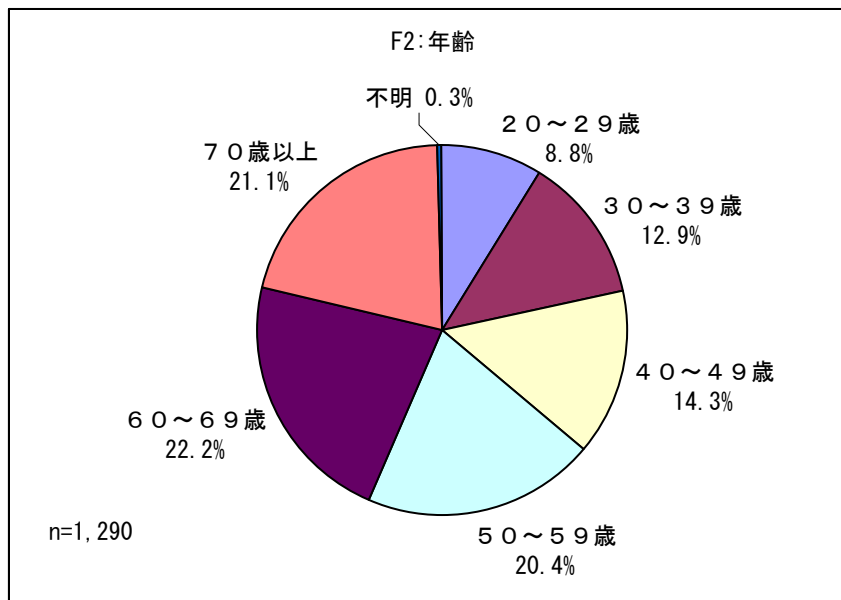
今回のアンケート調査で回答が得られた 1,290 人のうち、男性は 42.6%、女性が 55.5%であった。



カテゴリ	件数	(全体)%
男	549	42.6
女	716	55.5
不明	25	1.9
サンプル数 (%ベース)	1,290	100.0

② 年齢

今回のアンケート調査に回答した市民の年齢構成は、「60歳代」が22.2%と最も高く、「70歳以上」(21.1%)、「50歳代」(20.4%)と続いた。一方、「20歳代」が8.8%と低い割合であった。

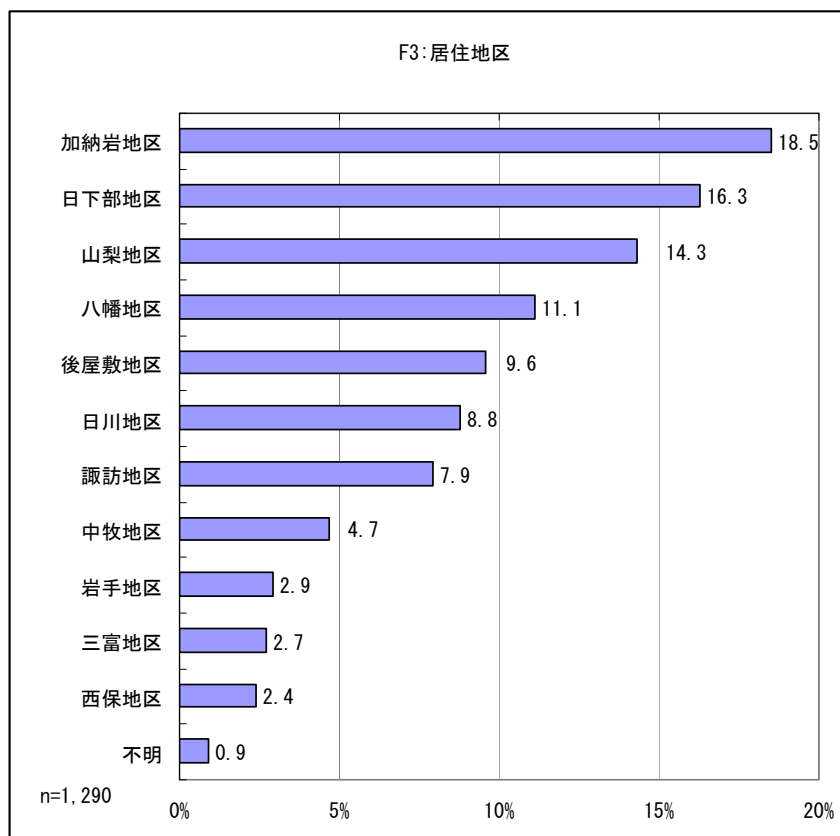


カテゴリ	件数	(全体)%
20～29歳	113	8.8
30～39歳	166	12.9
40～49歳	185	14.3
50～59歳	263	20.4
60～69歳	287	22.2
70歳以上	272	21.1
不明	4	0.3
サンプル数 (%ベース)	1,290	100.0

③ 居住地区

今回のアンケート調査に回答した市民の居住地の割合は、「加納岩地区」(18.5%)が最も高く、次いで「日下部地区」(16.3%)、「山梨地区」(14.3%)、八幡地区(11.1%)と続いた。

各地区の20歳以上の人口に対する回答者の割合は3.6%~4.7%となっている。

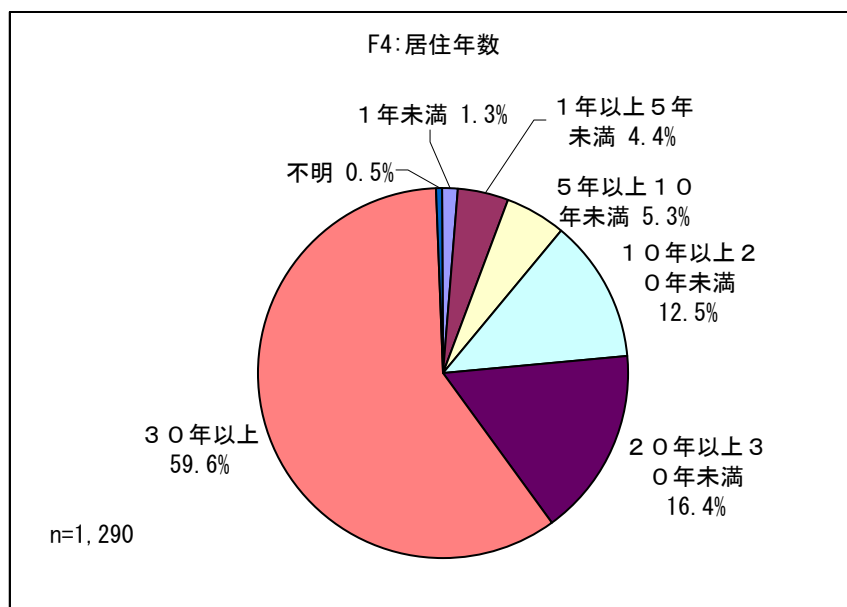


カテゴリ	件数	(全体)%
加納岩地区	239	18.5
日下部地区	210	16.3
山梨地区	185	14.3
八幡地区	143	11.1
後屋敷地区	124	9.6
日川地区	113	8.8
諏訪地区	102	7.9
中牧地区	60	4.7
岩手地区	37	2.9
三富地区	35	2.7
西保地区	31	2.4
不明	11	0.9
サンプル数 (% ^ペ -入)	1,290	100.0

地区名	① 20歳以上 人口	② 回答者数	各地区20歳 以上人口に 対する回答 者数の割合 (②/①)
加 納 岩	6,101	239	3.9%
日 下 部	5,786	210	3.6%
八 幡	3,182	143	4.5%
山 梨	3,924	185	4.7%
日 川	3,010	113	3.8%
後 屋 敷	2,827	124	4.4%
岩 手	1,024	37	3.6%
諏 訪	2,543	102	4.0%
中 牧	1,483	60	4.0%
西 保	738	31	4.2%
三 富	972	35	3.6%
合 計	31,590	1,279	4.0%

④ 居住年数

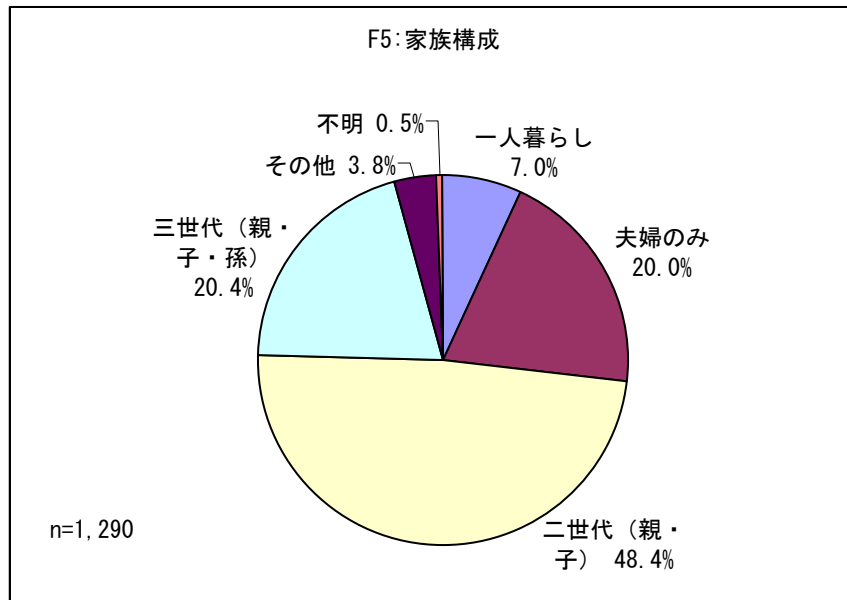
今回のアンケート調査における回答者の、山梨市（旧三富、旧牧丘地区を含む）への居住年数は、「30年以上」が最も高く、半数を超える59.6%を占めた。ついで「20年以上30年未満」が16.4%、「10年以上20年未満」が12.5%であった。居住年数が10年以上の回答者が、全回答者の88.5%を占めている。



カテゴリ	件数	(全体)%
1年未満	17	1.3
1年以上5年未満	57	4.4
5年以上10年未満	68	5.3
10年以上20年未満	161	12.5
20年以上30年未満	212	16.4
30年以上	769	59.6
不明	6	0.5
サンプル数 (%ベース)	1,290	100.0

⑤ 家族構成

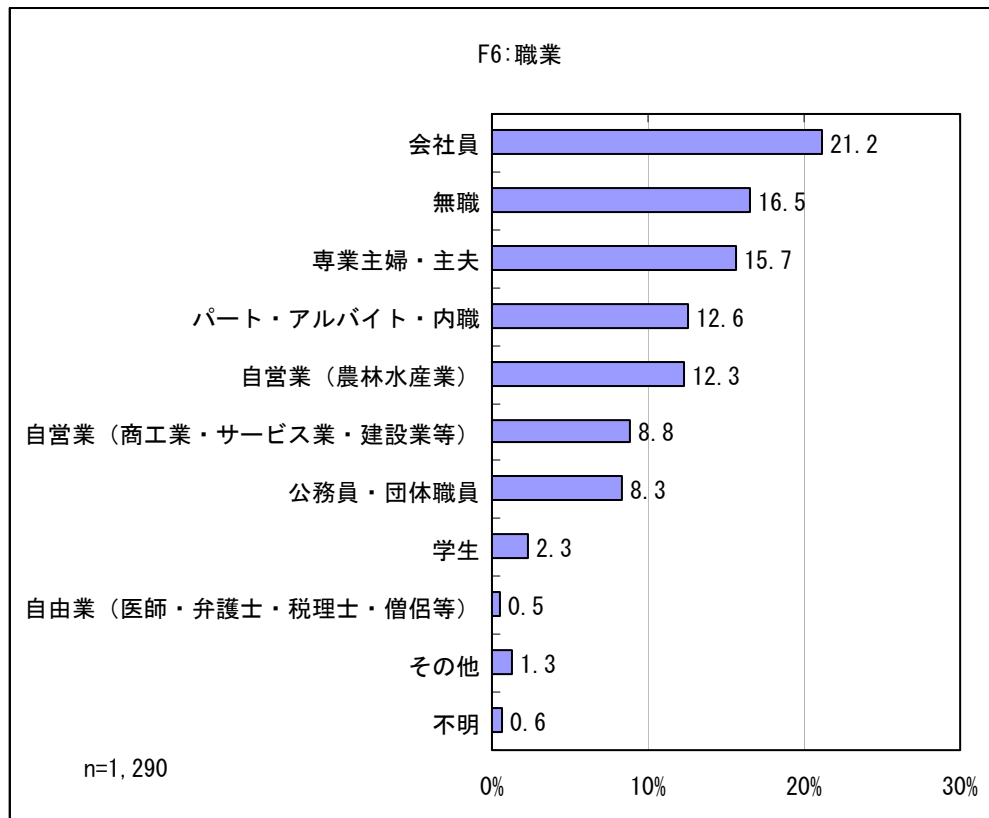
今回のアンケート調査における回答者の家族構成は、「二世代（親・子）」が最も高く48.4%を占めた。次いで「三世代（親・子・孫）」の20.4%、「夫婦のみ」20.0%の順となった。「一人暮らし」は、7.0%であった。



カテゴリ	件数	(全体)%
一人暮らし	90	7.0
夫婦のみ	258	20.0
二世代（親・子）	624	48.4
三世代（親・子・孫）	263	20.4
その他	49	3.8
不明	6	0.5
サンプル数（%へ入）	1,290	100.0

⑥ 職業

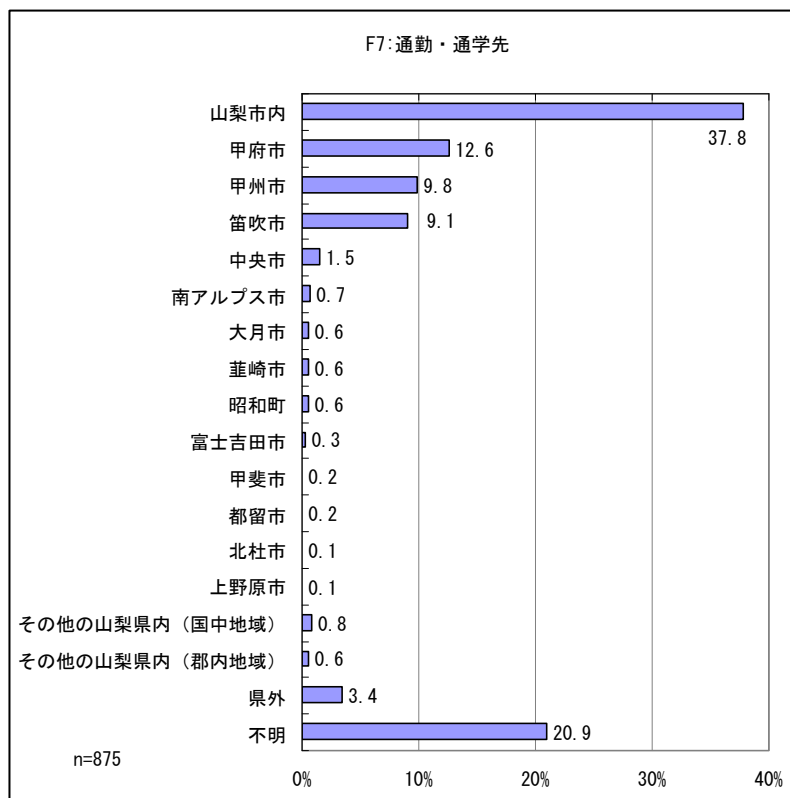
今回のアンケート調査の回答者の職業では、「会社員」が最も多く 21.2%、次いで「無職」が 16.5%、「専業主婦・主夫」が 15.7%であった。



カテゴリ	件数	(全体)%
会社員	273	21.2
無職	213	16.5
専業主婦・主夫	202	15.7
パート・アルバイト・内職	162	12.6
自営業（農林水産業）	159	12.3
自営業（商工業・サービス業・建設業等）	113	8.8
公務員・団体職員	107	8.3
学生	30	2.3
自由業（医師・弁護士・税理士・僧侶等）	6	0.5
その他	17	1.3
不明	8	0.6
サンプル数（%ベース）	1,290	100.0

⑦ 通勤・通学先

今回のアンケート調査における回答者の通勤・通学先は、山梨市内が最も多く 37.8%、続いて甲府市が 12.6%、甲州市が 9.8%、笛吹市が 9.1%であった。県外は 3.4%であった。なお、無回答 183 人 (20.9%) のうち 84 人が、職業を問う⑥で「1. 自営業 (農林水産業)」を選択している。



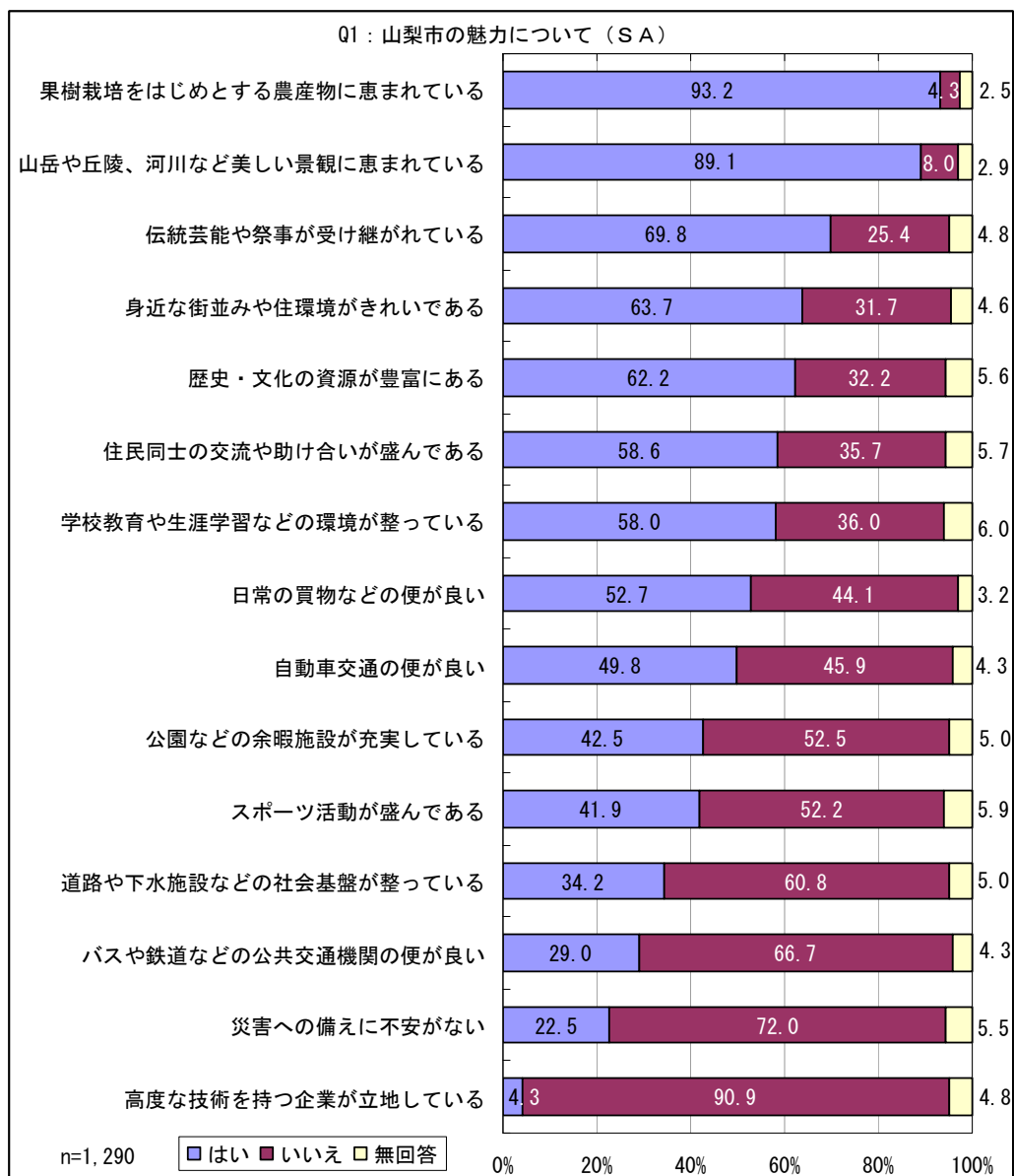
カテゴリ	件数	(全体)%
山梨市内	331	37.8
甲府市	110	12.6
笛吹市	80	9.1
甲州市	86	9.8
甲斐市	2	0.2
大月市	5	0.6
都留市	2	0.2
韮崎市	5	0.6
南アルプス市	6	0.7
中央市	13	1.5
富士吉田市	3	0.3
北杜市	1	0.1
上野原市	1	0.1
昭和町	5	0.6
その他の山梨県内 (国中地域)	7	0.8
その他の山梨県内 (郡内地域)	5	0.6
県外	30	3.4
不明	183	20.9
サンプル数 (%ベース)	875	100.0

3. 山梨市の魅力・住みやすさ

① 山梨市の魅力について

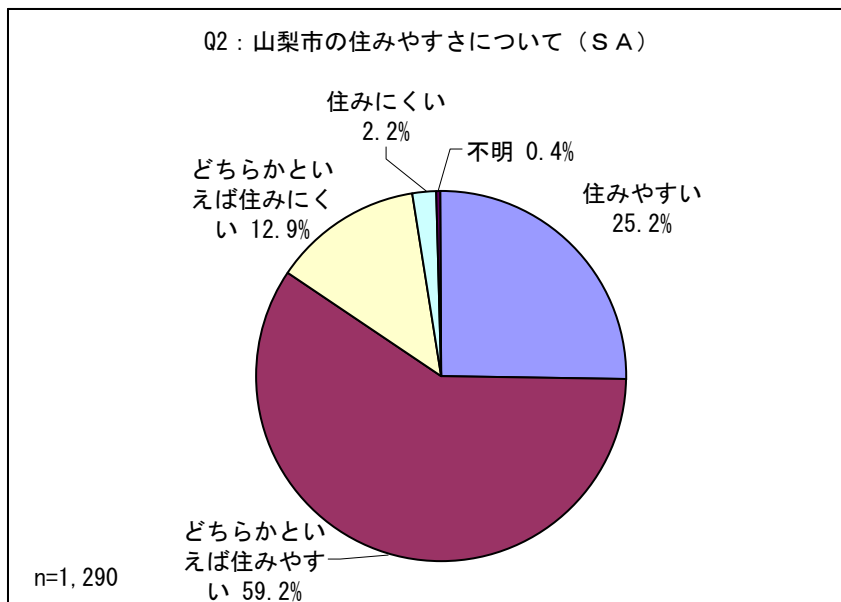
山梨市の魅力についてたずねた。肯定する「はい」という回答が最も高かったのは、「果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている」で93.2%、続いて「山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている」が89.1%、「伝統芸能や祭事が受け継がれている」が69.8%であった。

逆に、肯定する「はい」という回答が低かったのは、「高度な技術を持つ企業が立地している」が4.3%、「災害への備えに不安がない」が22.5%、「バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い」が29.0%であった。特に「高度な技術を持つ企業が立地している」がひとときわ低い結果となった。



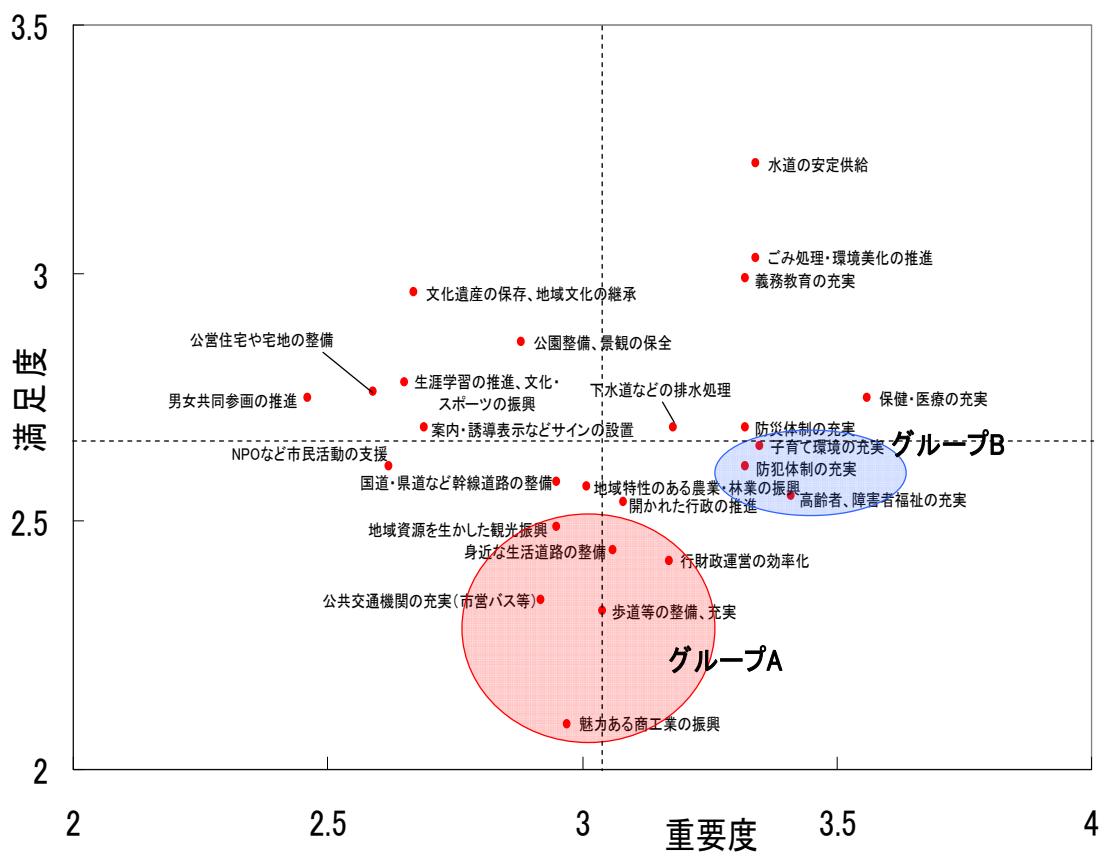
② 山梨市の住みやすさについて

山梨市の住みやすさについてたずねた。「住みやすい」が25.2%、「どちらかといえば住みやすい」が59.2%と、住みやすさに対して肯定的な回答が84.4%を占めた。「どちらかといえば住みにくい」は12.9%、「住みにくい」は2.2%であった。



4. 満足度、重要度等

市が実施する施策にどの程度満足しているのかということと、各施策をどの程度重要であると考えているのかを、満足度と重要度としてたずねた。満足度については、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満である」の4段階で、重要度については、「きわめて重要である」、「かなり重要である」、「まあ重要である」、「あまり重要ではない」の4段階でたずねた。集計に当たっては、満足度、重要度が高いほうから低いほうに向かって、4点、3点、2点、1点を割り振り、各施策について回答者の平均点を算出した。計算の結果を、重要度を横軸に、満足度を縦軸にとり、散布図形式で示した。なお、図中に示した点線は、満足度、重要度の全体の平均値を表している。



グループAは、満足度が特に低い施策で、以下の6施策が含まれる。

施策	満足度の点数
魅力ある商工業の振興	2.09
歩道等の整備、充実	2.32
公共交通機関の充実(市営バス等)	2.34
行財政運営の効率化	2.42
身近な生活道路の整備	2.44
地域資源を生かした観光振興	2.49

グループBは、市民の重要度の認識は高いものの、満足度がやや低い施策で、以下の3施策が含まれる。

施 策	満足度の点数	重要度の点数
高齢者、障害者福祉の充実	2.55	3.41
防犯体制の充実	2.61	3.32
子育て環境の充実	2.65	3.35

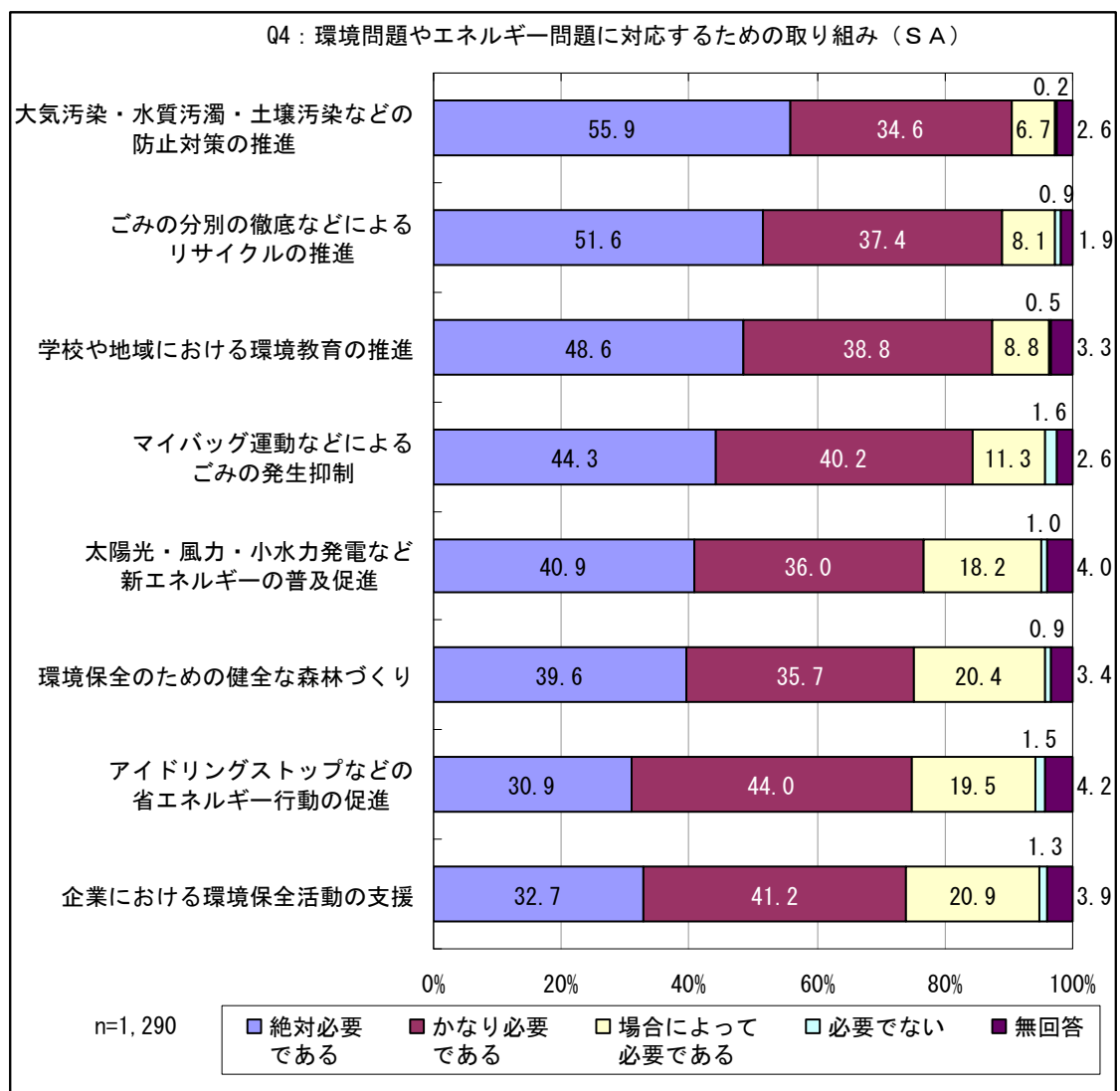
グループAとグループBに含まれる施策は、今後の事業展開について、十分議論をして進めていくべきである。

5. 分野ごとの各施策の必要性

設問ごとに、「絶対必要である」、「かなり必要である」、「場合によっては必要である」、「必要でない」の4段階でたずねた。

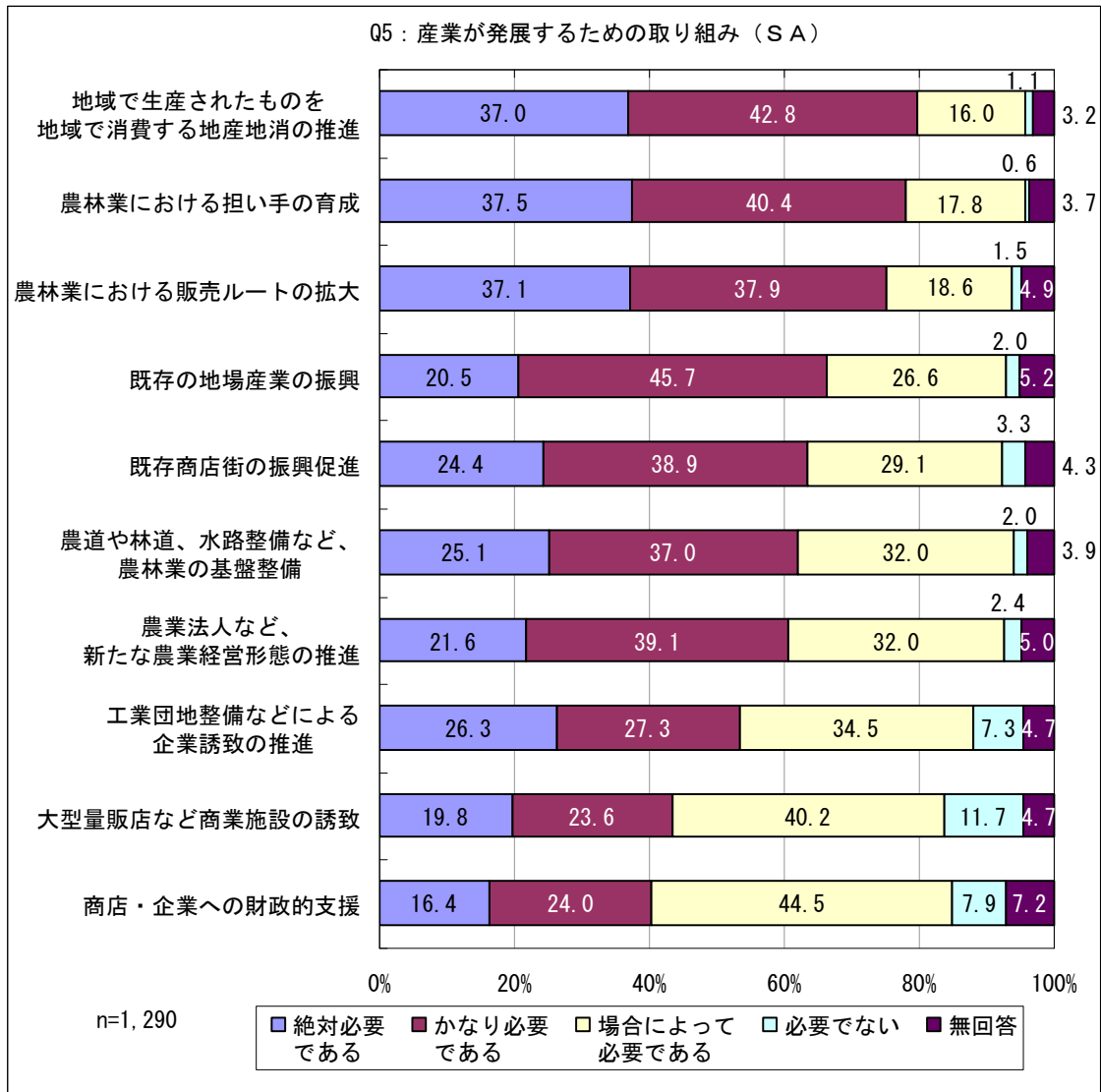
① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が高かったのは、「大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進」の90.5%、「ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進」の89.0%、「学校や地域における環境教育の推進」の87.4%であった。

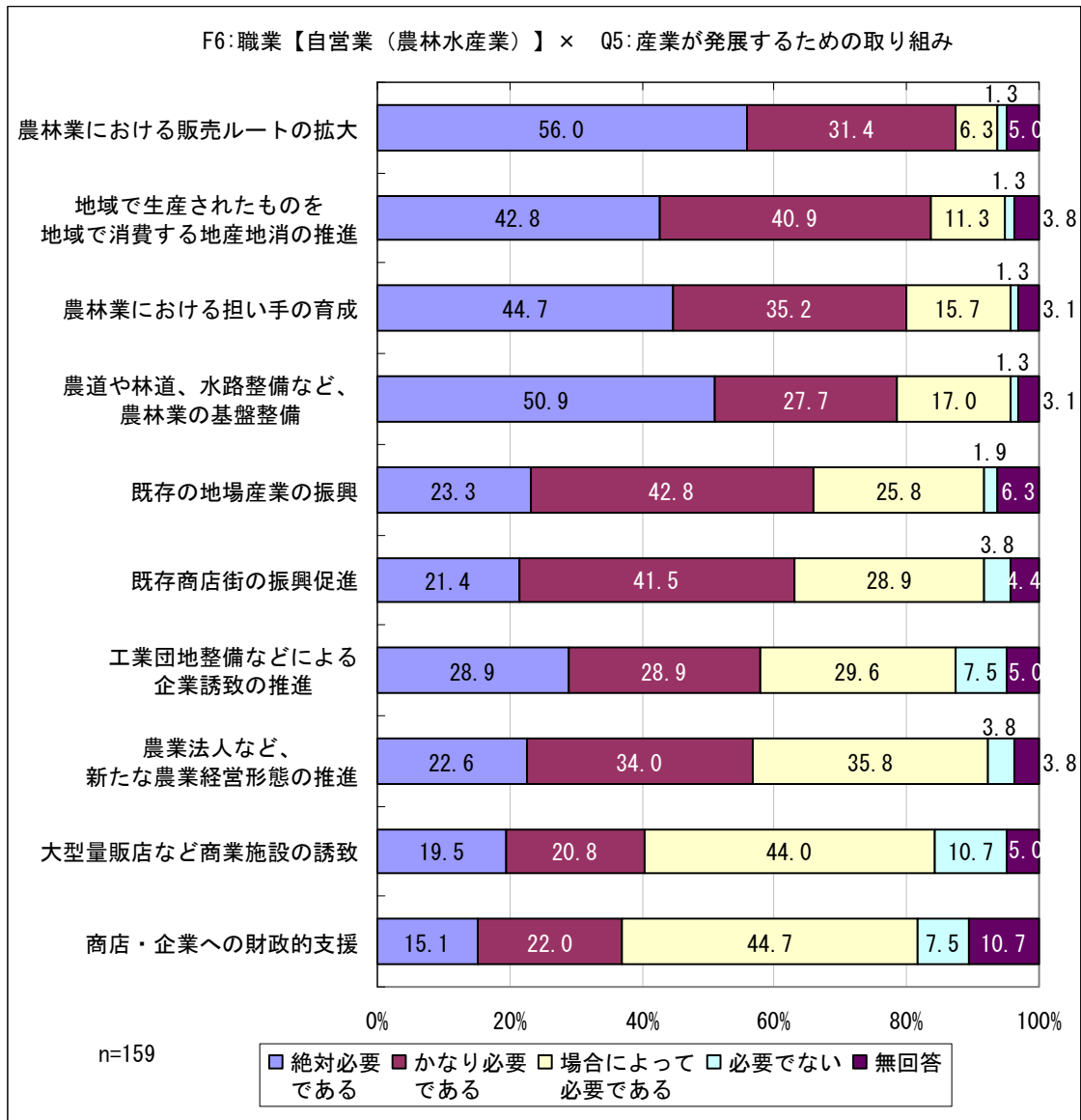


② 産業（農林業・商業・工業）が発展するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が高かったのは、「地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進」の79.8%、以下「農林業における担い手の育成」の77.9%、「農林業における販売ルートの拡大」の75.0%の順となっている。

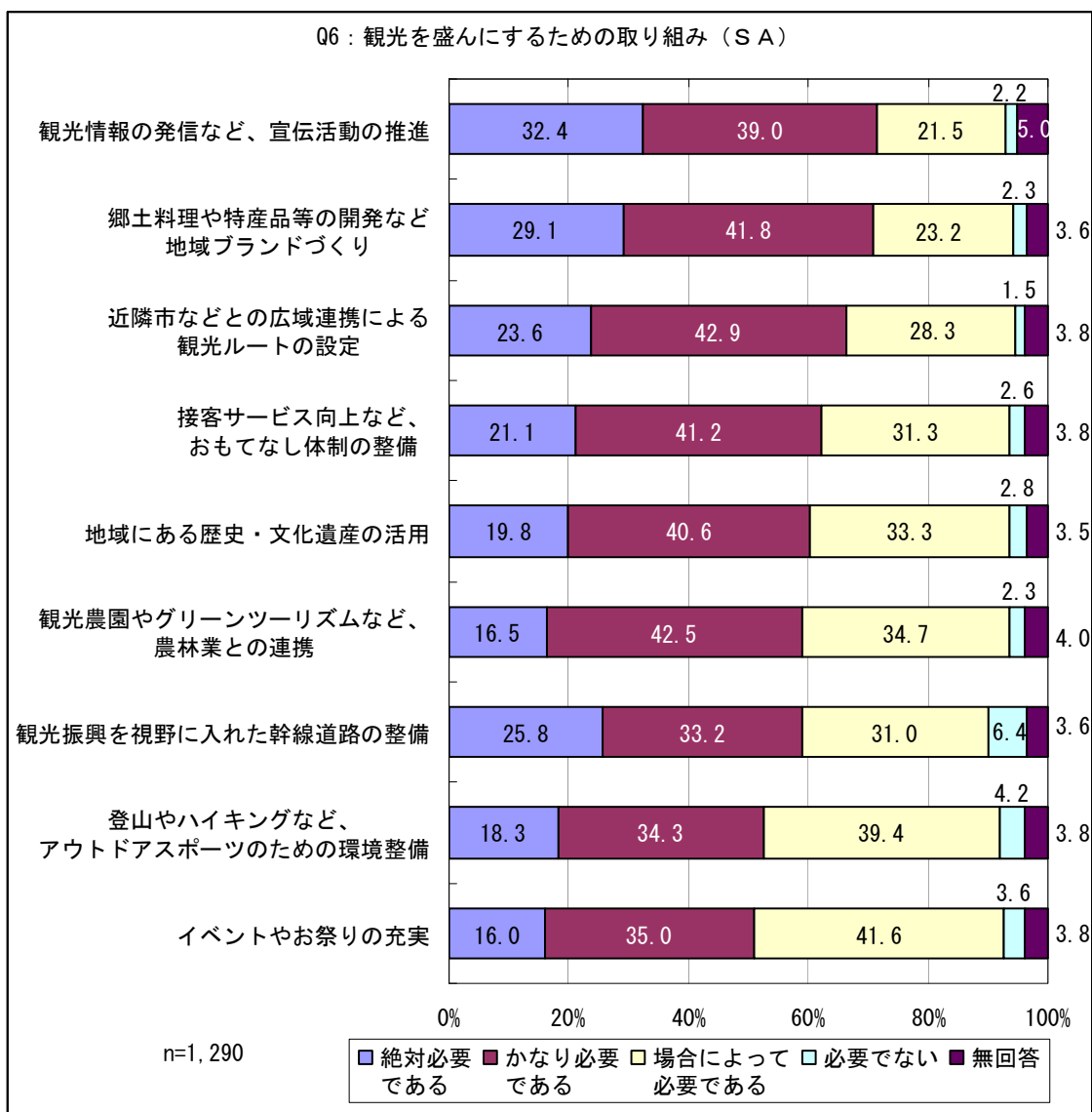


農林水産業を営む者に限定すると、「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も高いのは「農林業における販売ルートの拡大」の87.4%で、農林水産業者にとって最も重要な課題であることが見受けられる。



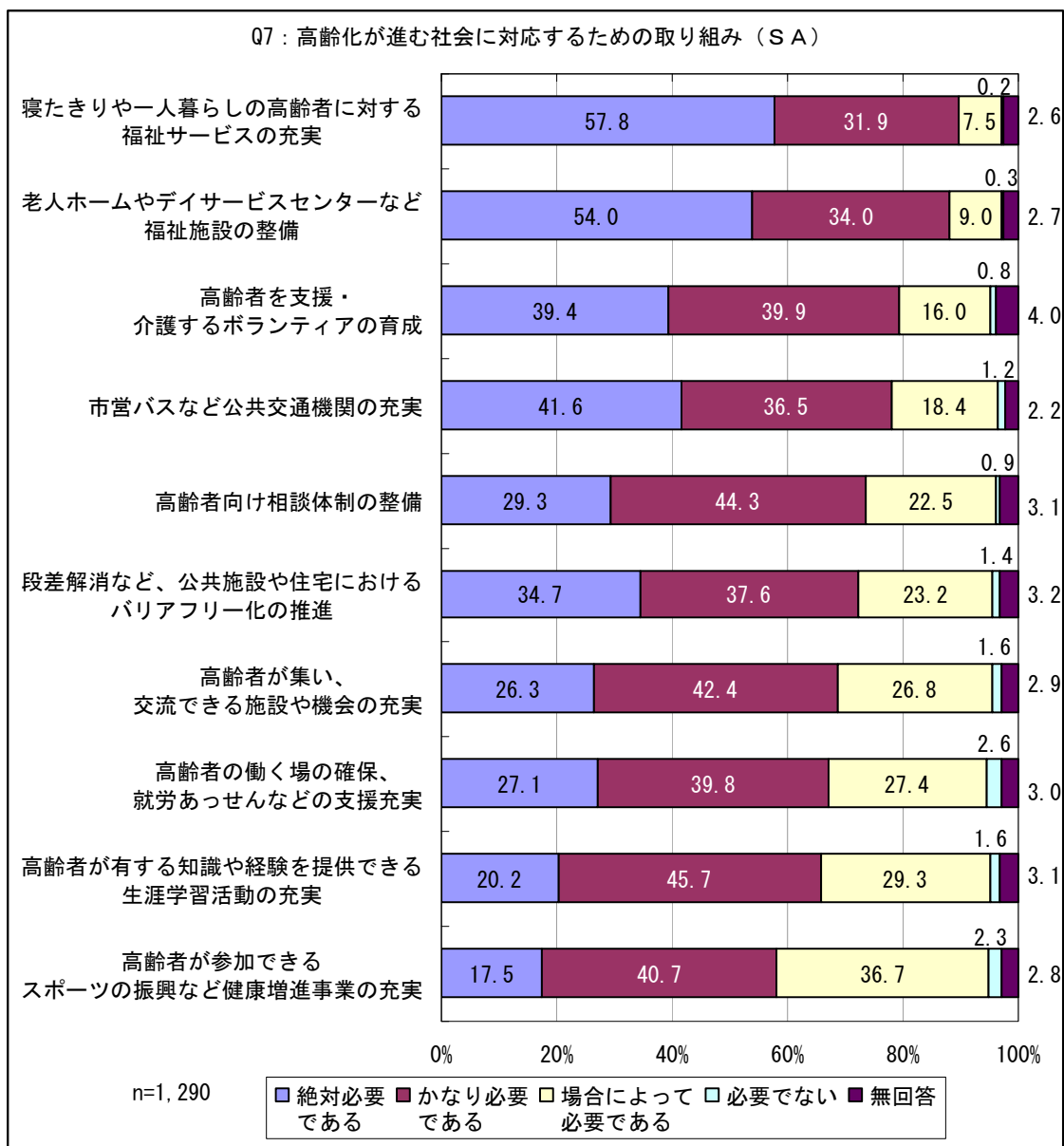
③ 観光を盛んにするための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「観光情報の発信など、宣伝活動の推進」の71.4%であり、以下「郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり」(70.9%)、「近隣市などとの広域連携による観光ルートの設定」(66.5%)、「接客サービス向上など、おもてなし体制の整備」(62.3%)と続く。この結果から、観光で大事なのは、地域情報発信や地域ブランドなど地域のイメージであると考えていることがわかった。



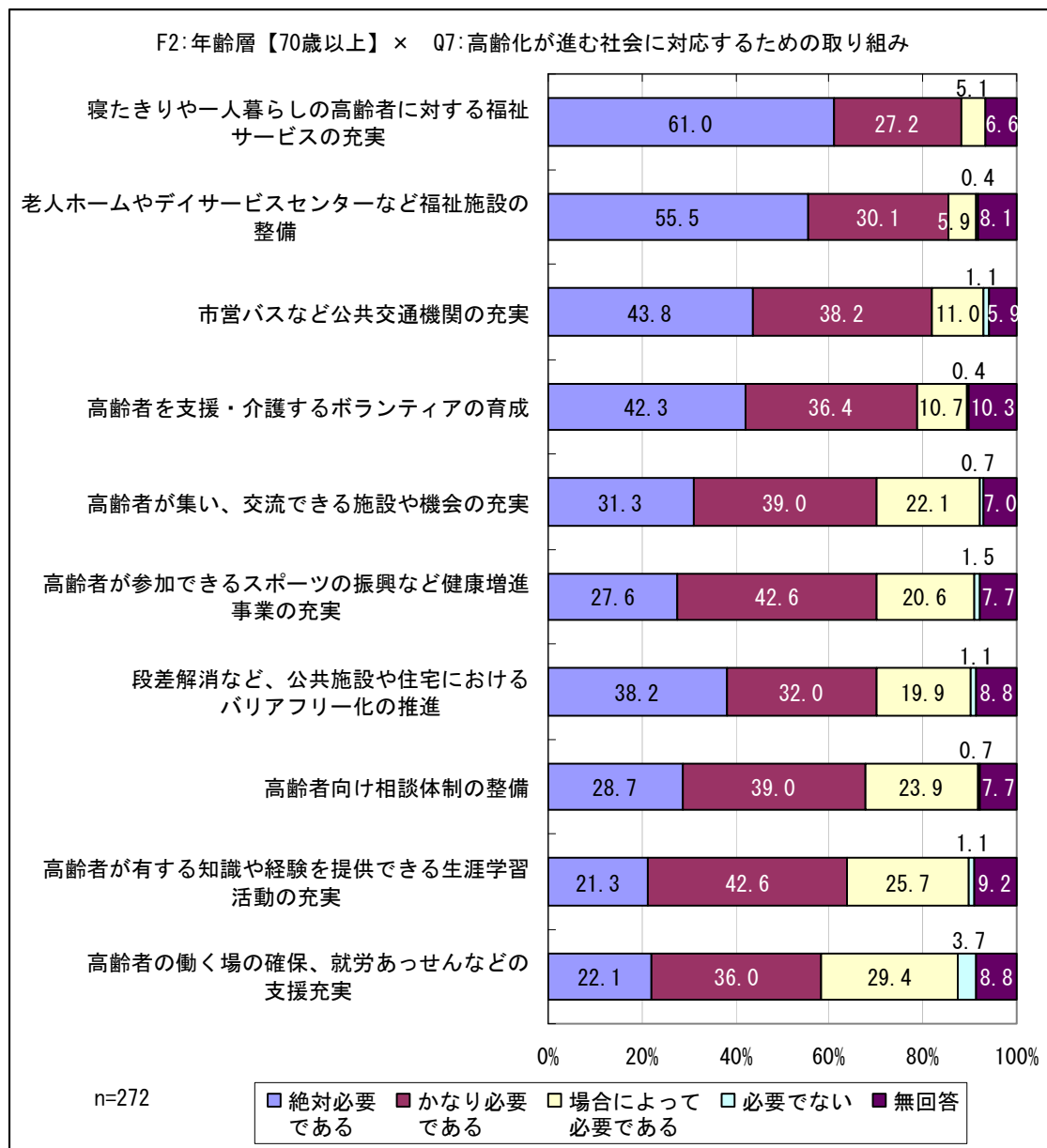
④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値は、「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」(89.7%)、「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」(88.0%)、「高齢者を支援・介護するボランティアの育成」(79.3%)の順となっている。

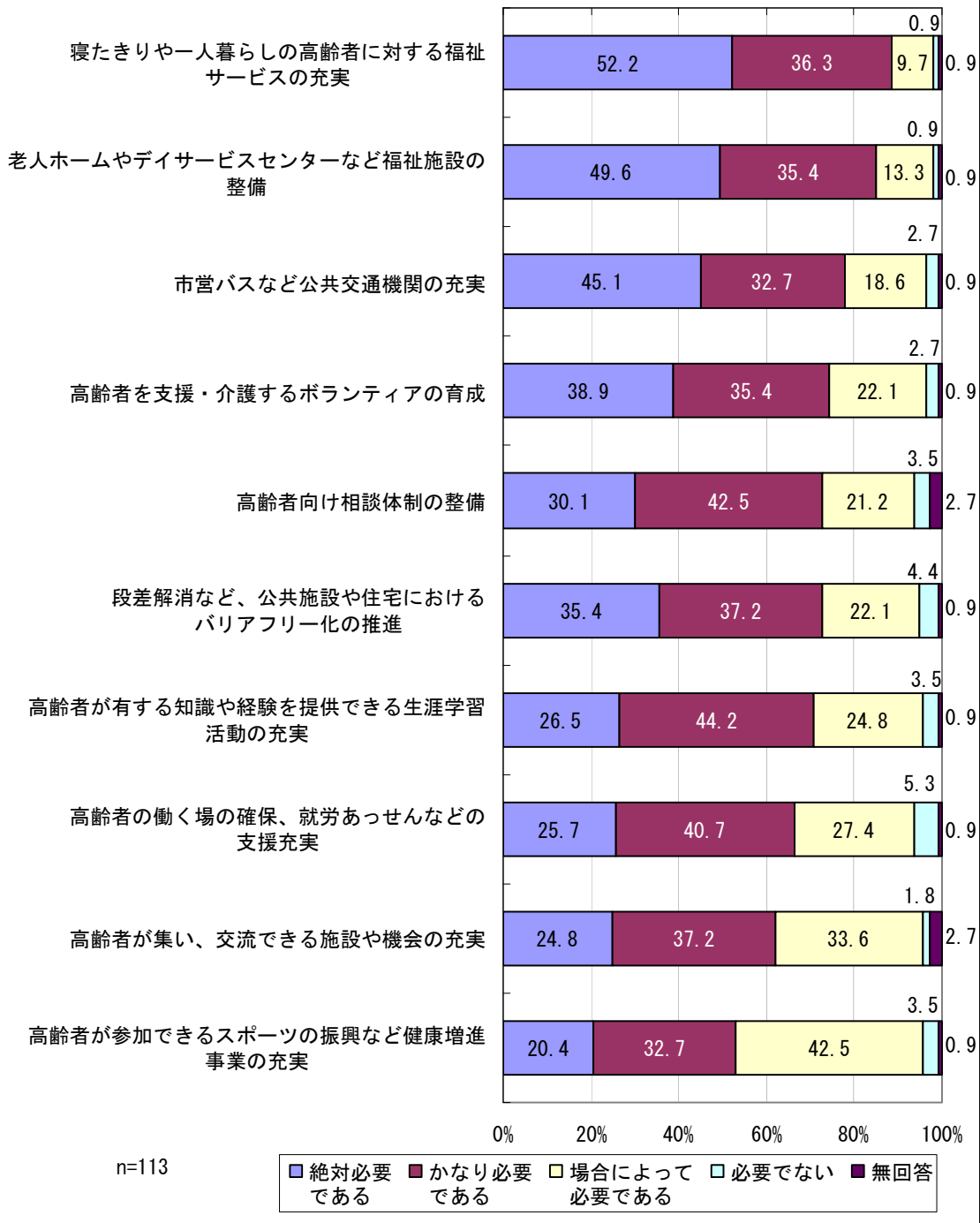


同じ質問で年齢別（70歳以上、20歳代）で見た場合でも、「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」（88.2%、88.5%）が最も高く、次に「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」（85.6%、85.0%）の順となっており、全体の傾向に近似している。

また、次いで両世代ともに高いのは、「市営バスなど公共交通機関の充実」（82.0%、77.8%）であり、世代間での考え方に大きな違いは見受けられない。

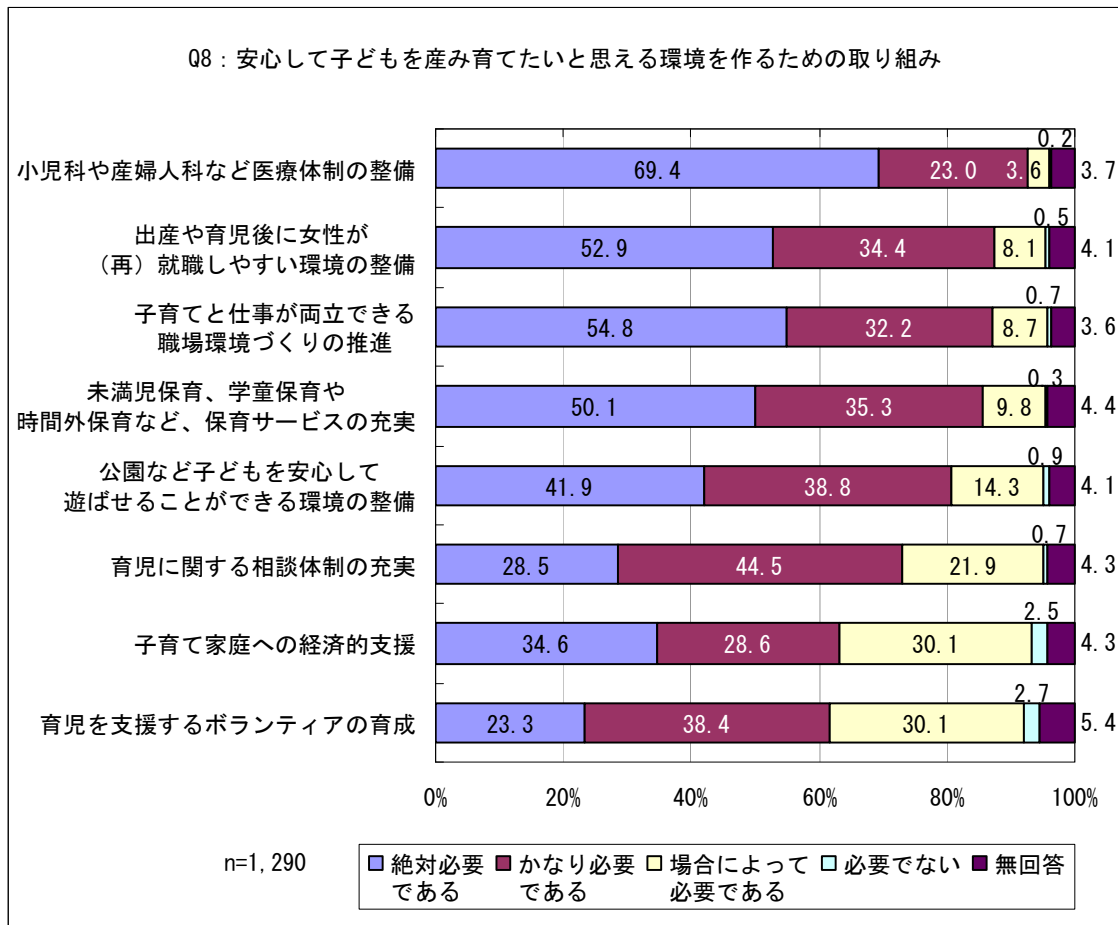


F2:年齢層【20歳代】 × Q7:高齢化が進む社会に対応するための取り組み



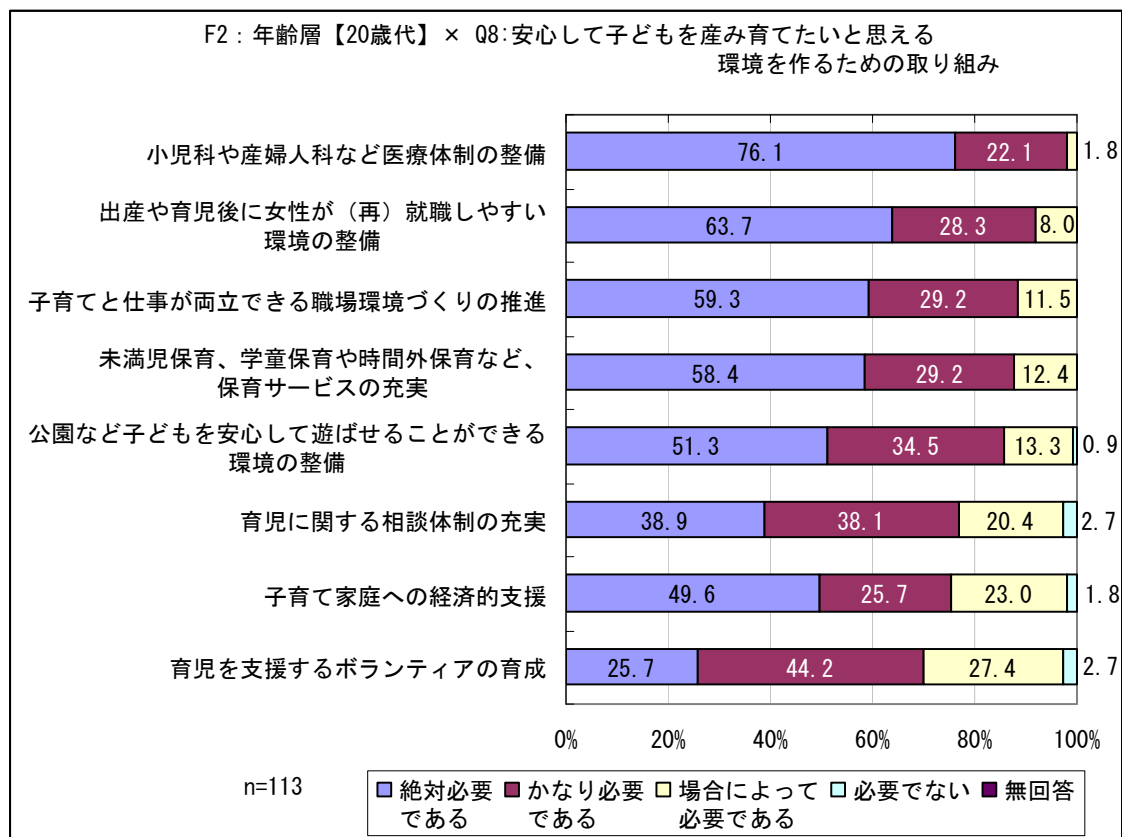
⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境を作るための取り組み

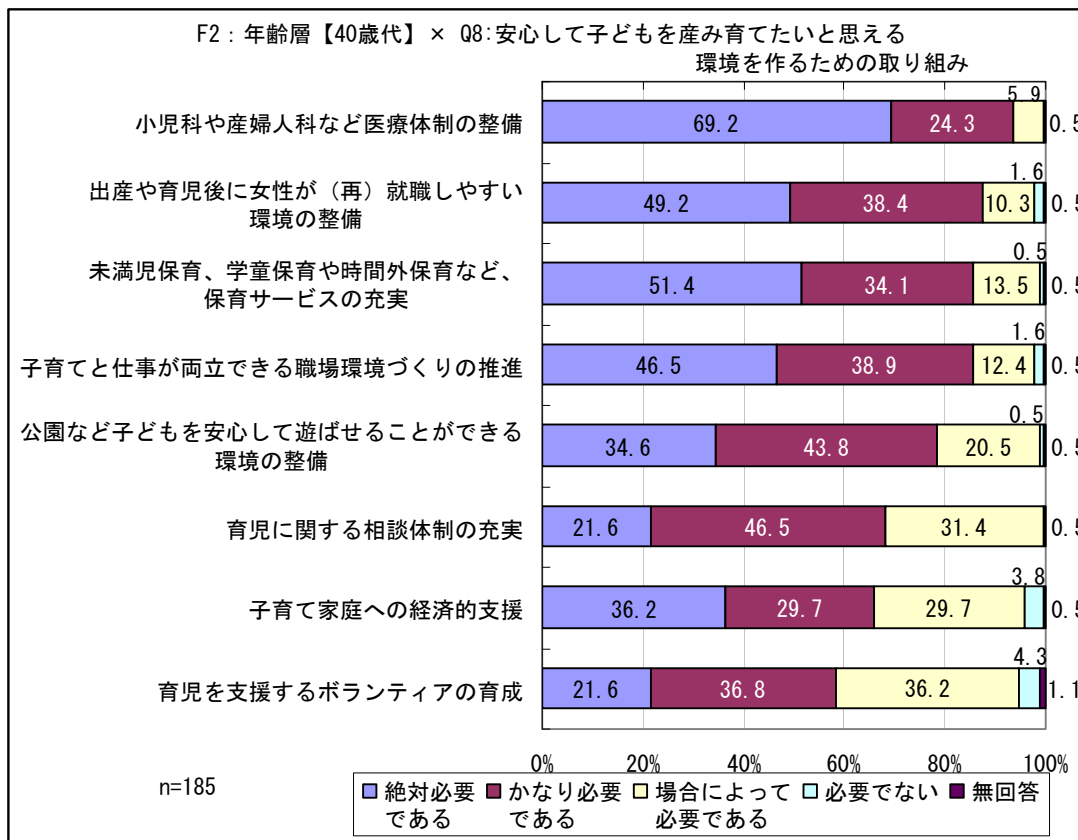
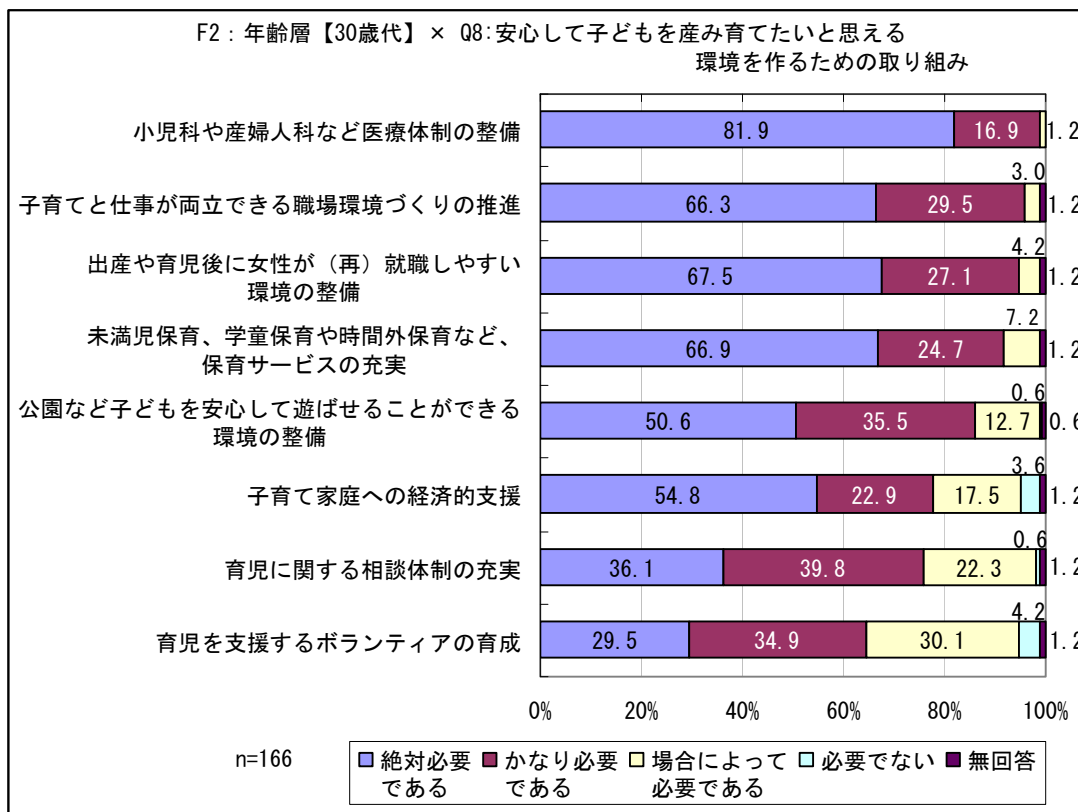
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「小児科や産婦人科など医療体制の整備」(92.4%)であり、次に「出産や育児後に女性が(再)就職しやすい環境の整備」(87.3%)、「子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進」(87.0%)と続いている。全国的な社会問題となっている産婦人科医不足やワーク・ライフ・バランスの実現などを反映しているものと思われる。



同じ質問を、20、30、40歳代に限定すると、「絶対必要である」「かなり必要である」の合計で最も高いのは、「小児科や産婦人科など医療体制の整備」で特に20、30歳代では98%以上と極めて高い数値となった。子育て世代にとって、この問題は、母胎や生まれてくる子供の命に係わる最重要課題であることを示している。

また、「出産や育児後に女性が（再）就職しやすい環境の整備」については、20歳代で92.0%、40歳代で87.6%と2番目に必要度の高いことを示し、30歳代でも94.6%と3番目に必要度の高いものと認識されている。出産や子育て後の就職について不安を抱く傾向が見て取れる。



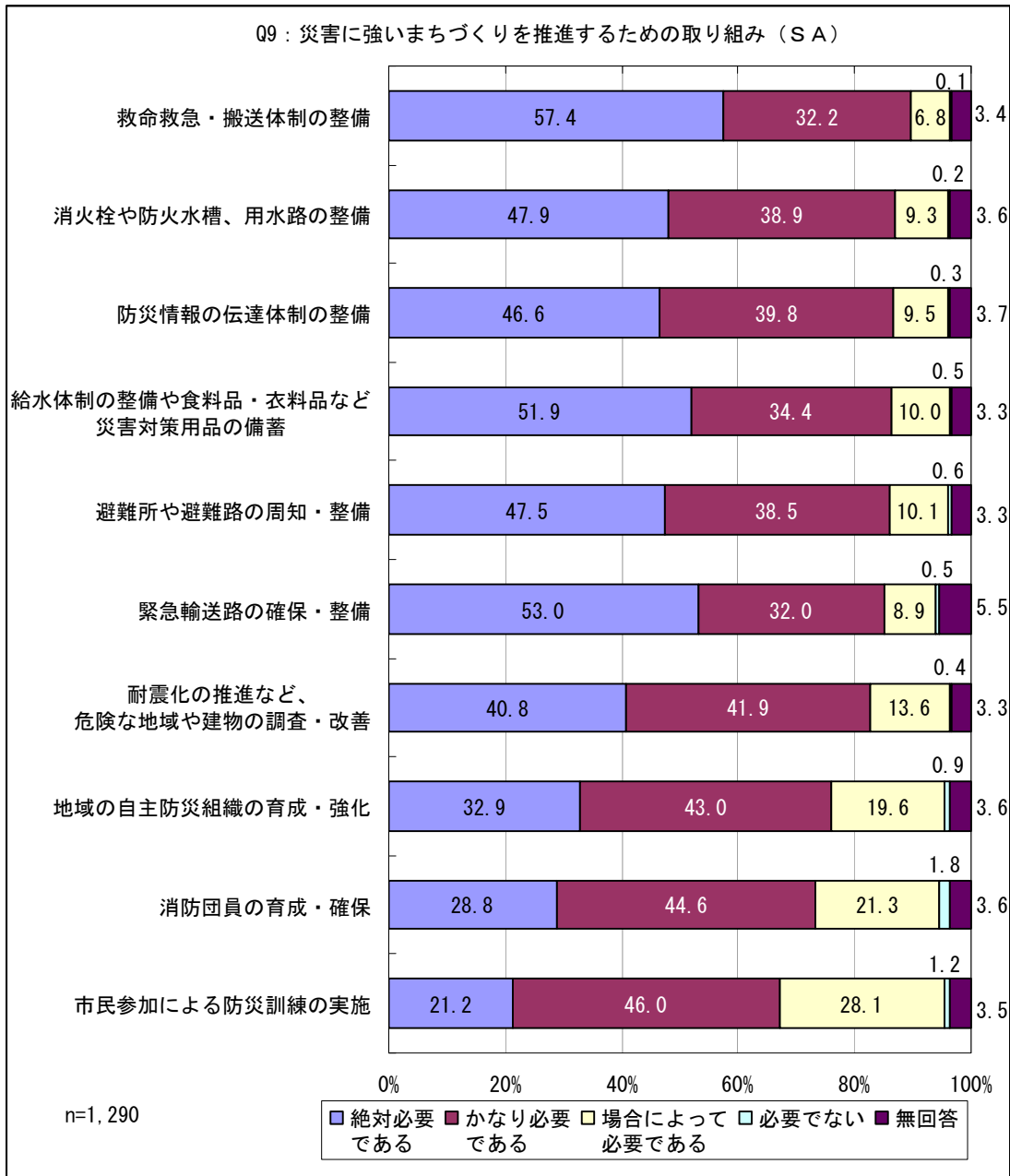


⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「救急救命・搬送体制の整備」(89.6%)で、以下「消火栓や防火水槽、用水路の整備」(86.8%)、「防災情報の伝達体制の整備」(86.4%)となっている。

また、85%以上を示したものとしては、上記のほか「給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄」(86.3%)、「避難所や避難路の周知・整備」(86.0%)、「緊急輸送路の確保・整備」(85.0%)があげられる。

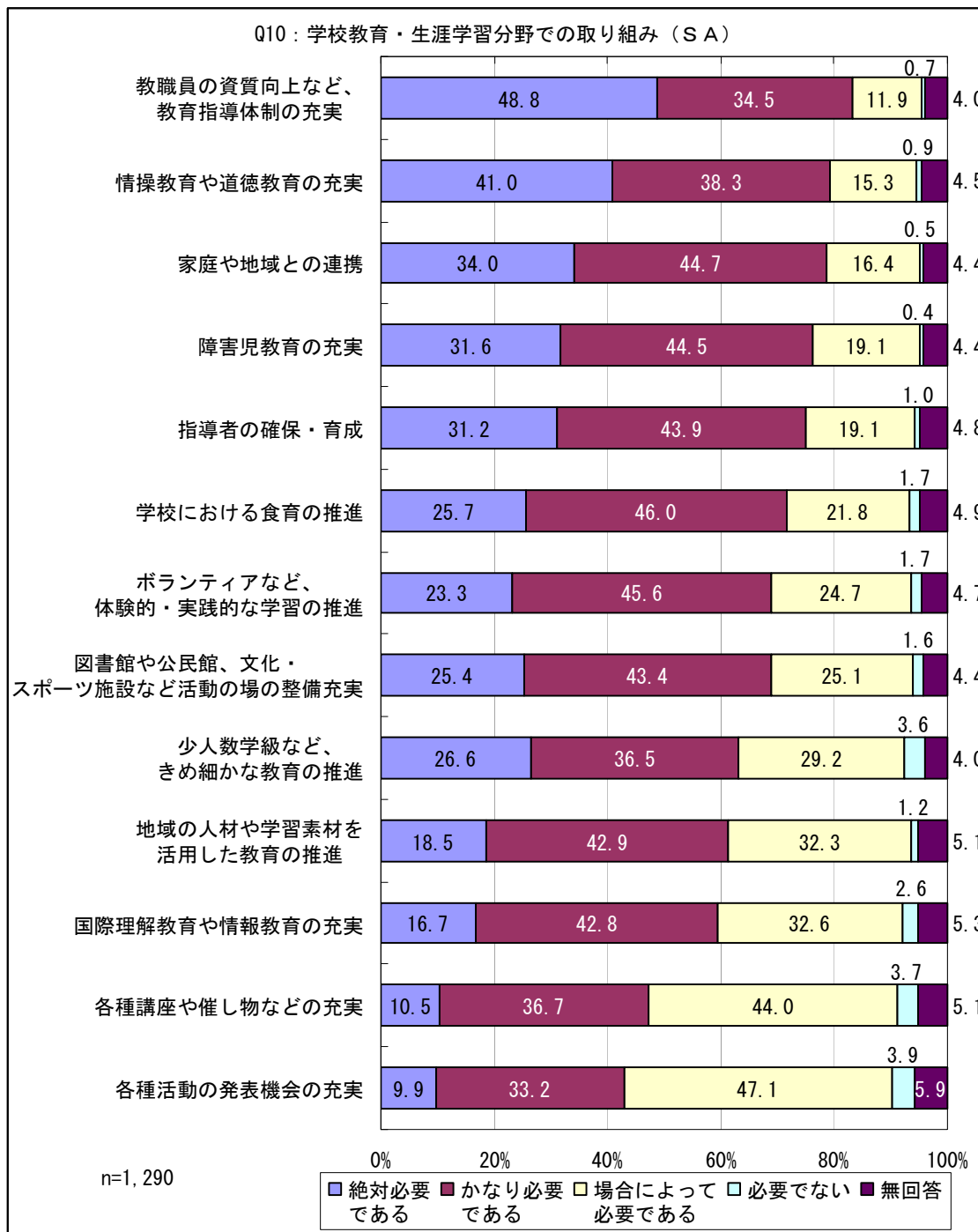
直接生命に係る施策についての危機意識はかなり高いが、「市民参加による防災訓練の実施」(67.2%)などの自主防災意識は、決して高いものとは言えない結果となった。



⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み

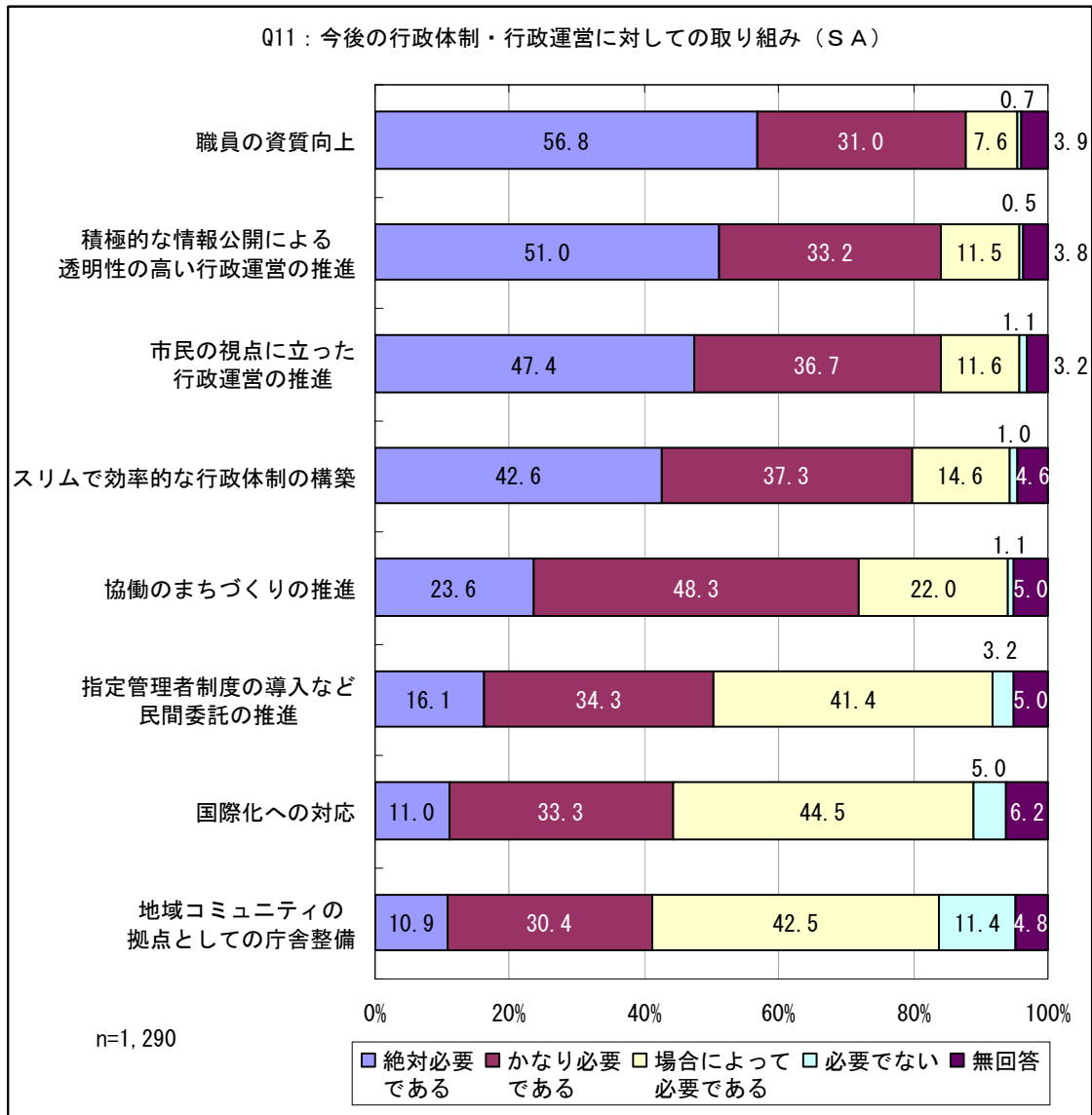
「絶対必要である」及び「かなり必要である」を合算した場合、ニーズが高い項目としては、「教職員の資質向上など、教育指導体制の充実」(83.3%)、「情操教育や道徳教育の充実」(79.3%)、「家庭や地域との連携」(78.7%)の順となっている。

平成21年4月から導入された教員免許更新制を受け、教員としての資質能力保持について、市民の関心が高いことが示された。



⑧ 今後の行政体制・行政運営に対する取り組み

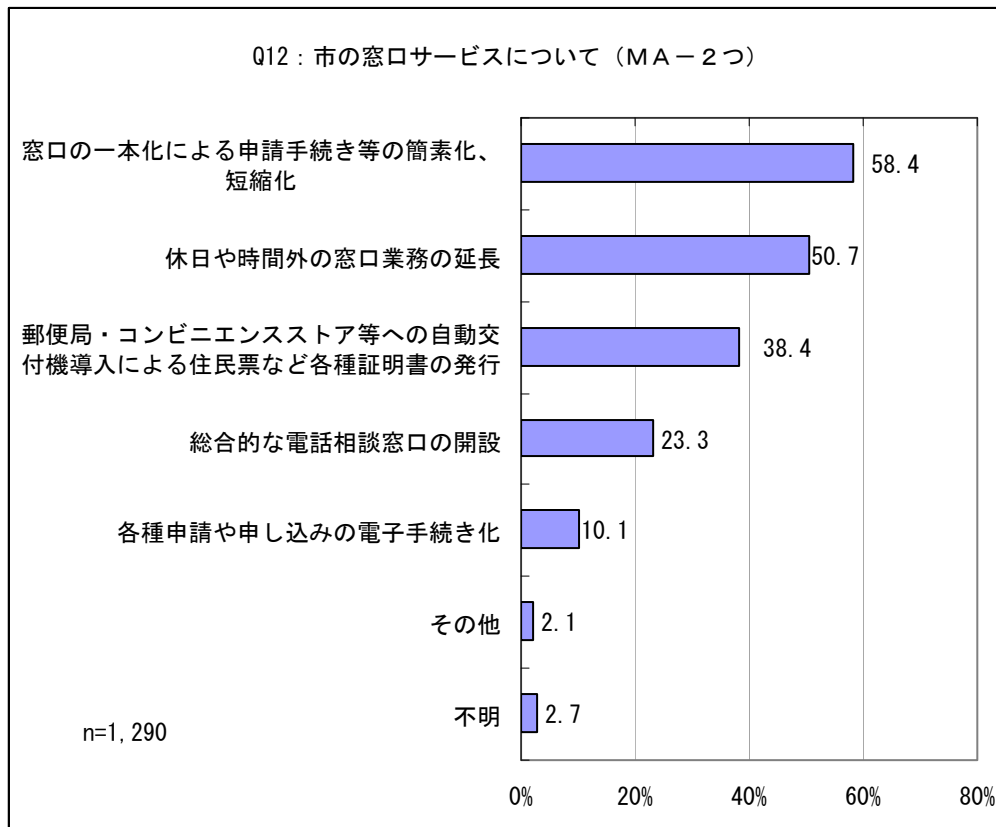
「絶対必要である」及び「かなり必要である」を合算した場合、ニーズが高い項目は、「職員の資質向上」(87.8%)、「積極的な情報公開による透明性の高い行政運営の推進」(84.2%)、「市民の視点に立った行政運営の推進」(84.1%)となっている。



6. 市民と行政とのあり方について

① 市の窓口サービスについて

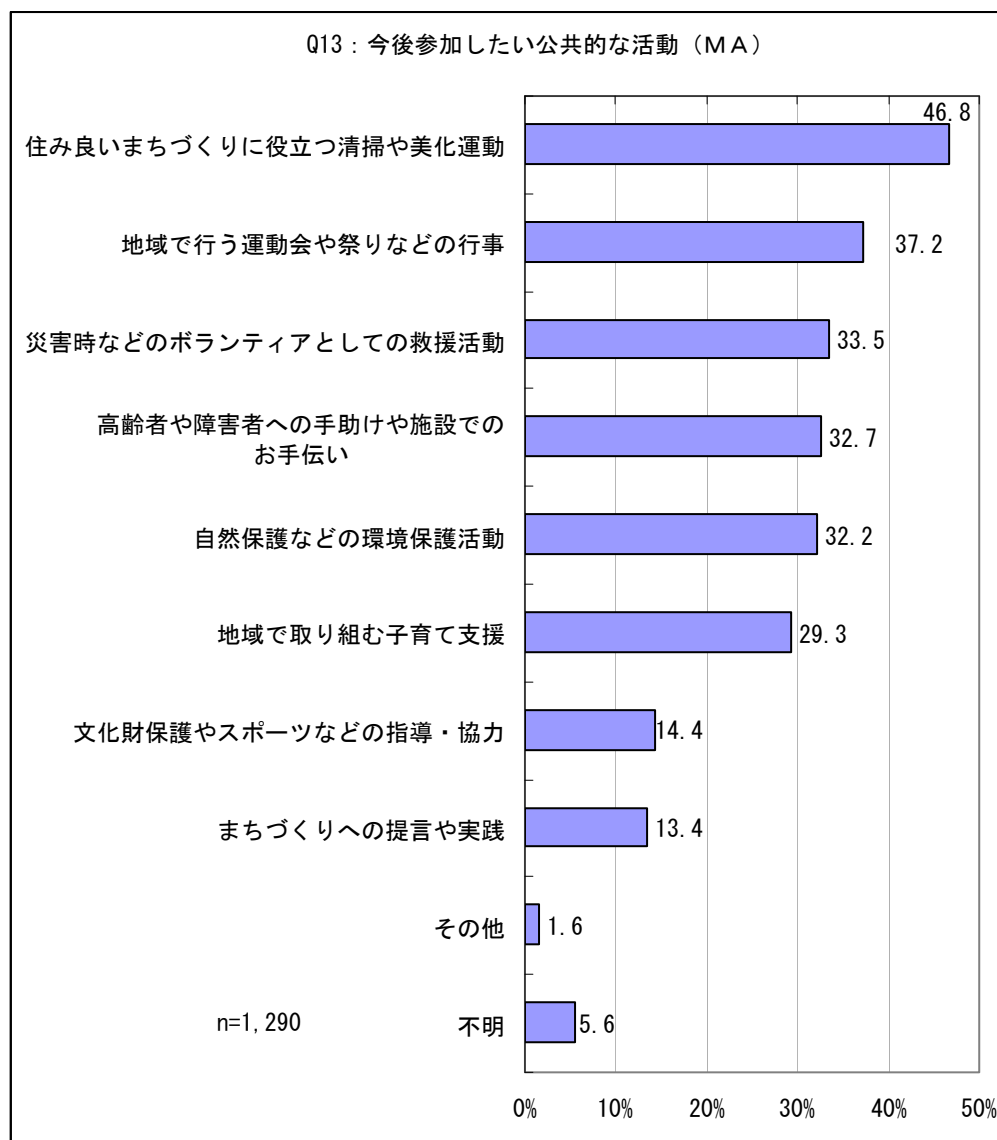
「市の窓口サービスの向上について、どのようなことを望むか」という質問に対しての回答は以下のとおりである。この中で「窓口の一本化による申請手続き等の簡素化、短縮化」(58.4%)、「休日や時間外の窓口業務の延長」(50.7%)を望む声が5割を超え、窓口サービスに対する市民の期待感が示された結果となった。



② 今後参加したい公共的な活動

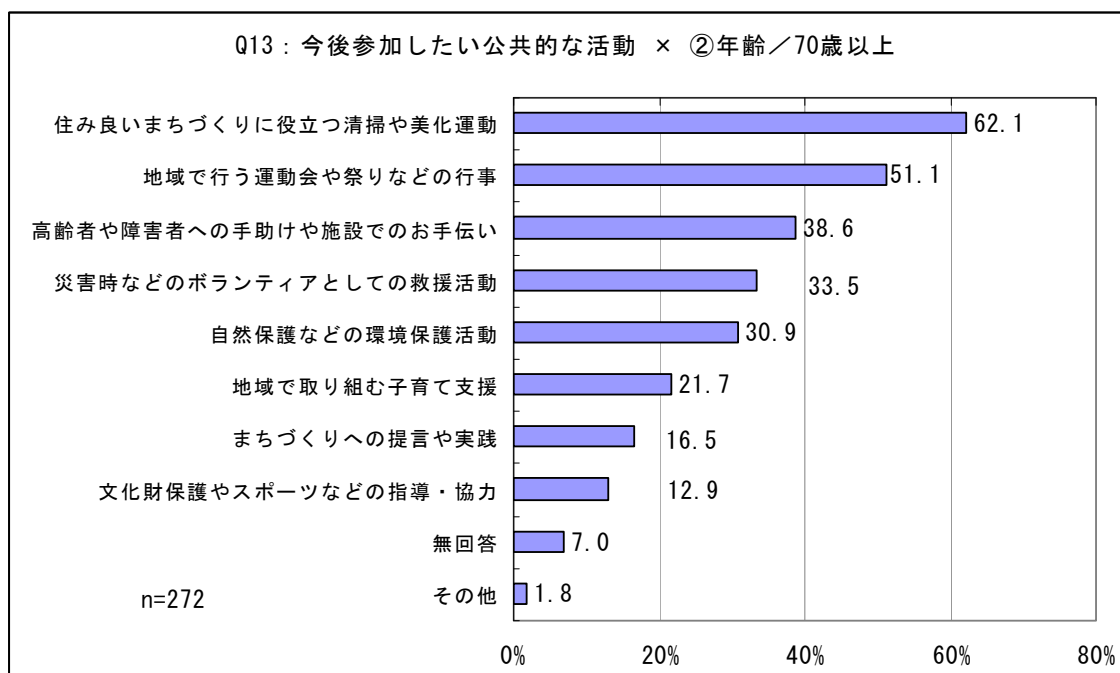
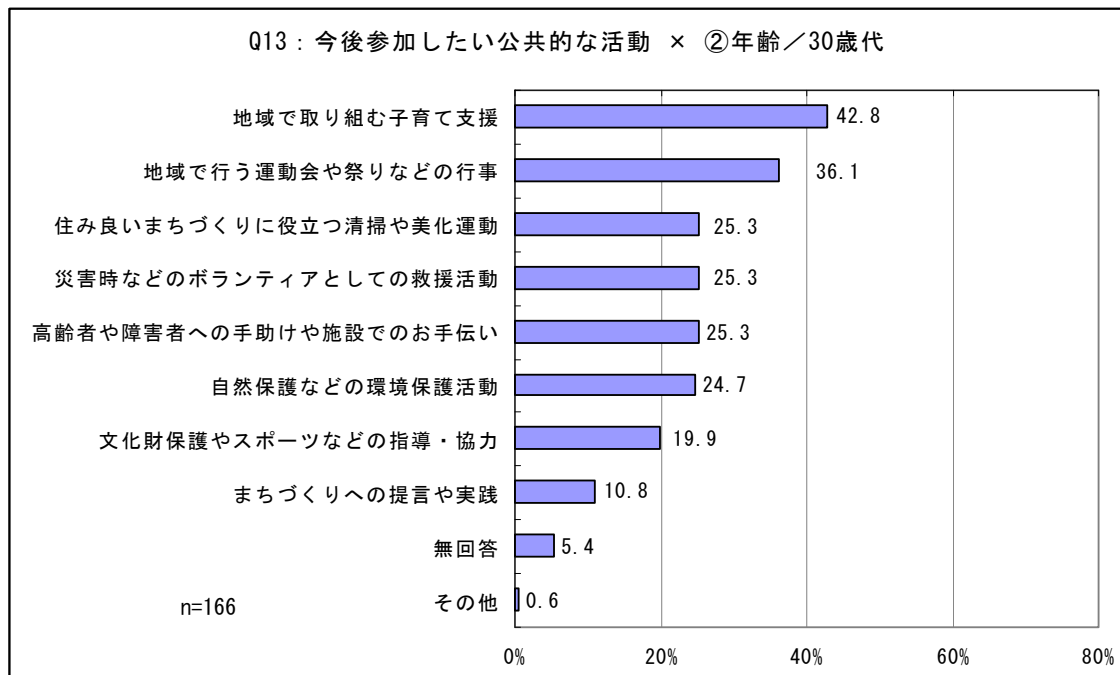
住民と行政との協働の可能性をみる「今後、どのような公共的な活動に参加したいと考えるか」という問いに対しては、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」（46.8%）が最も高く、以下「地域で行う運動会や祭りなどの行事」（37.2%）、「災害時などのボランティアとしての救援活動」（33.5%）の順となっている。

公共的な活動として、地域の環境美化活動などに意欲を示していることがわかったが、一方で、地域ガバナンスを展開していくうえで大切となる「まちづくりへの提言や実践」（13.4%）が低い結果となった。



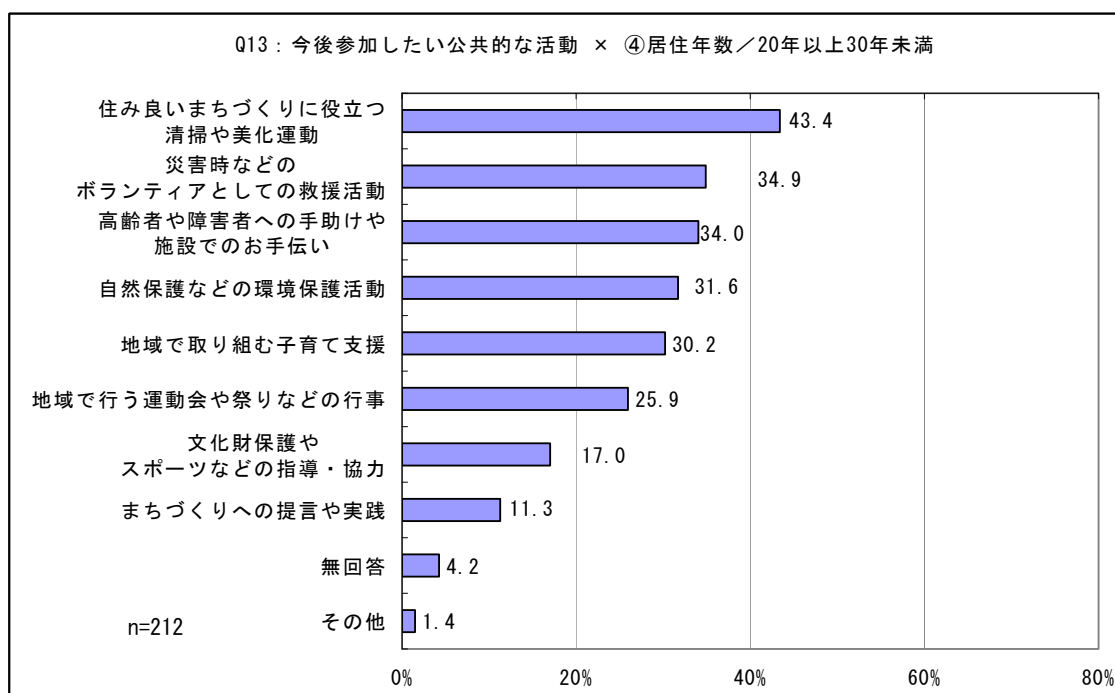
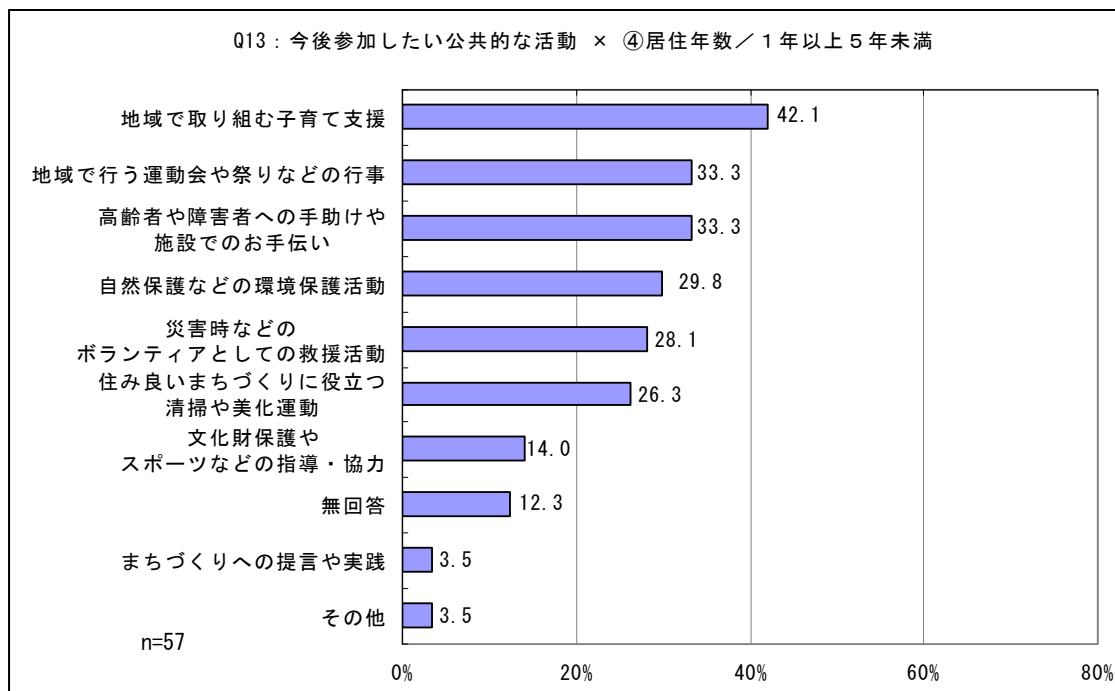
同じ質問を30歳代、70歳以上の別でみた場合、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」については、30歳代では25.3%と比較的低く、70歳以上で62.1%と高い数値を示している。

一方、「地域で取り組む子育て支援」に対しては、逆に、30歳代で42.8%、70歳以上では21.7%と対照的な結果となった。



また、居住年数（1年以上5年未満、20年以上30年未満の別）でみた場合、比較的居住歴が浅い1年以上5年未満の居住者層は「地域で取り組む子育て支援」（42.1%）がもっとも多くなっている。

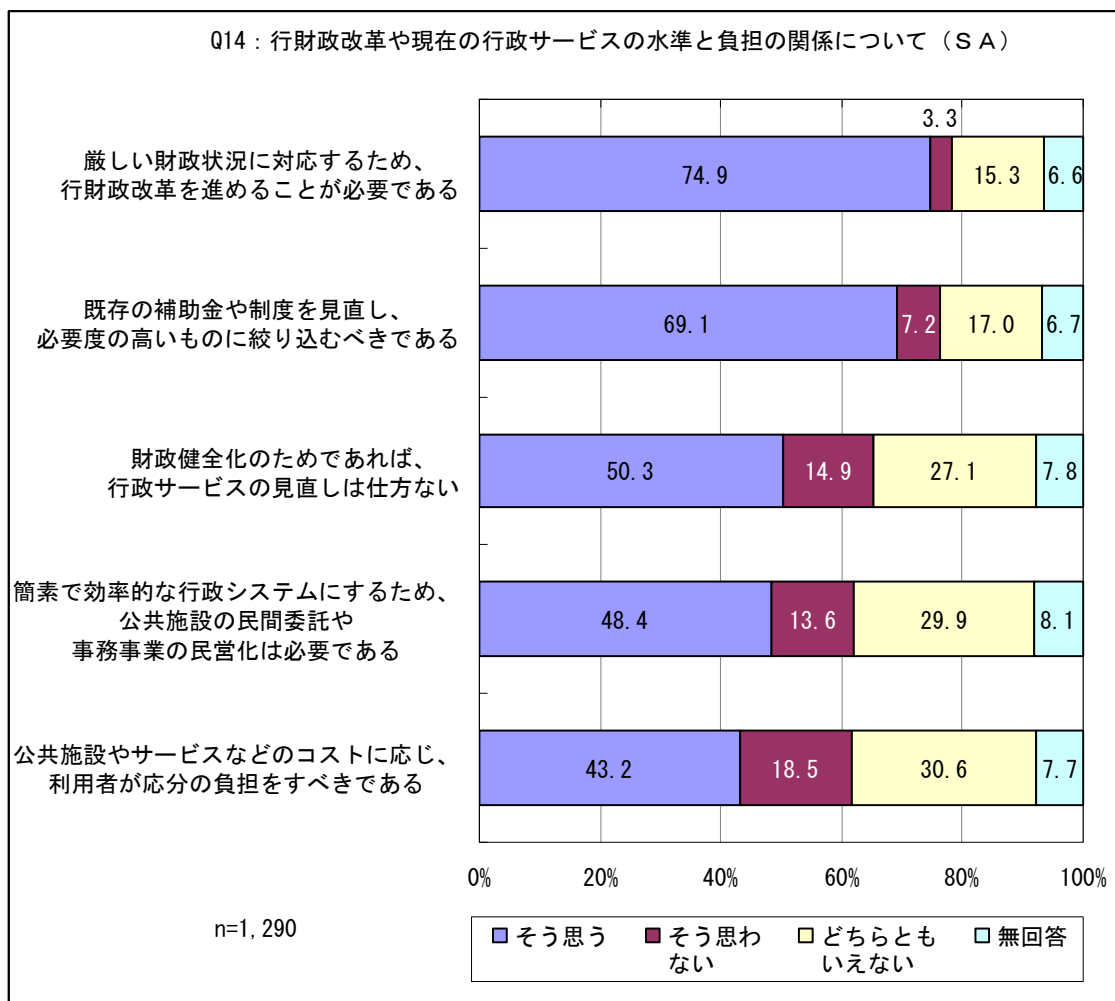
一方、居住歴がある程度長い20年以上30年未満の居住者層では「住みよいまちづくりに役立つ清掃や美化運動」（43.4%）をあげている。



③ 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について

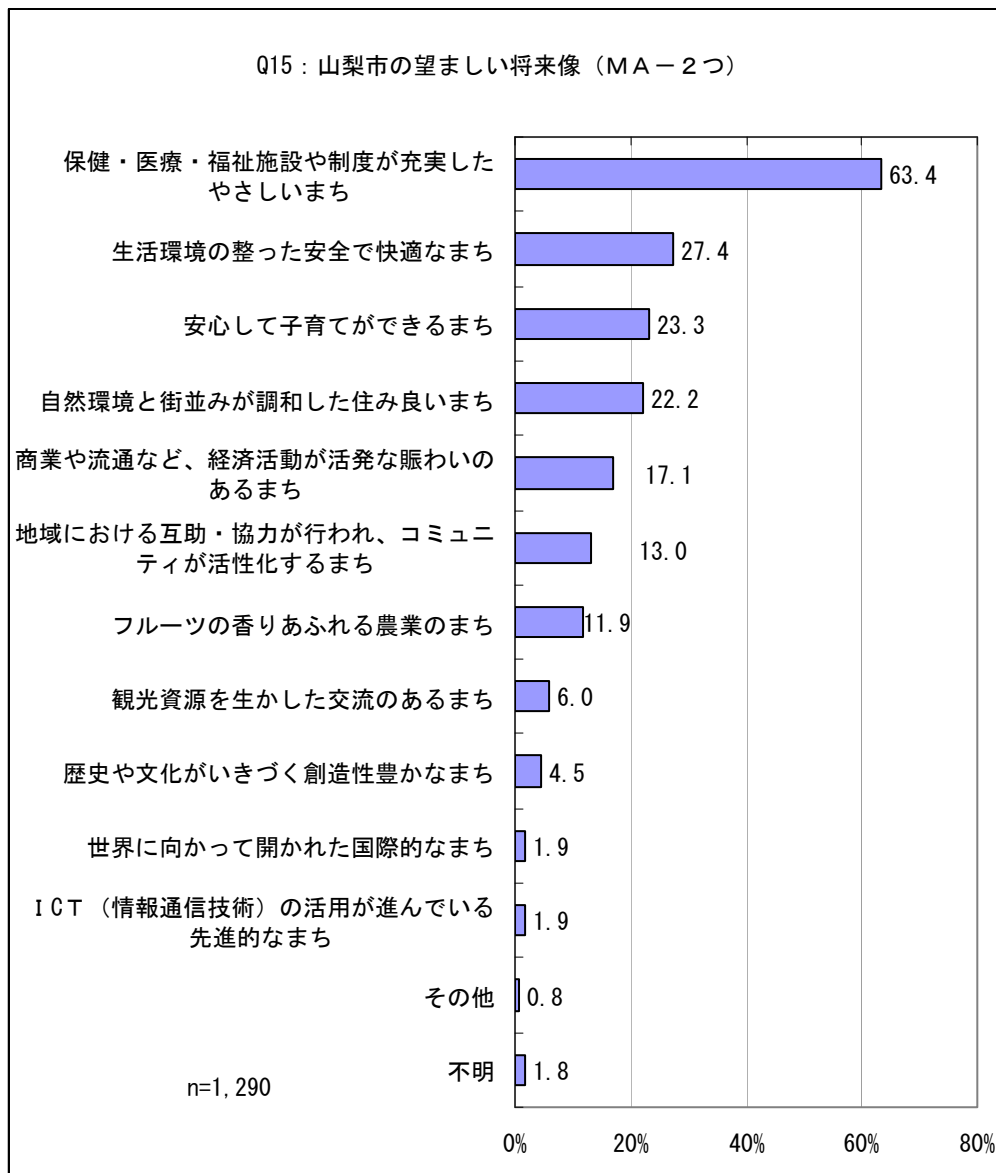
昨今の財政が厳しい中、「行財政改革」・「行政サービスの水準と負担」についての市民の意向を調査した問いでは、全ての項目において「そう思う」が「そう思わない」を大きく上回る結果となった。

中でも特に「厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進める必要がある」、「既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである」の項目については、ともに3分の2を超える支持があった。



7. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて

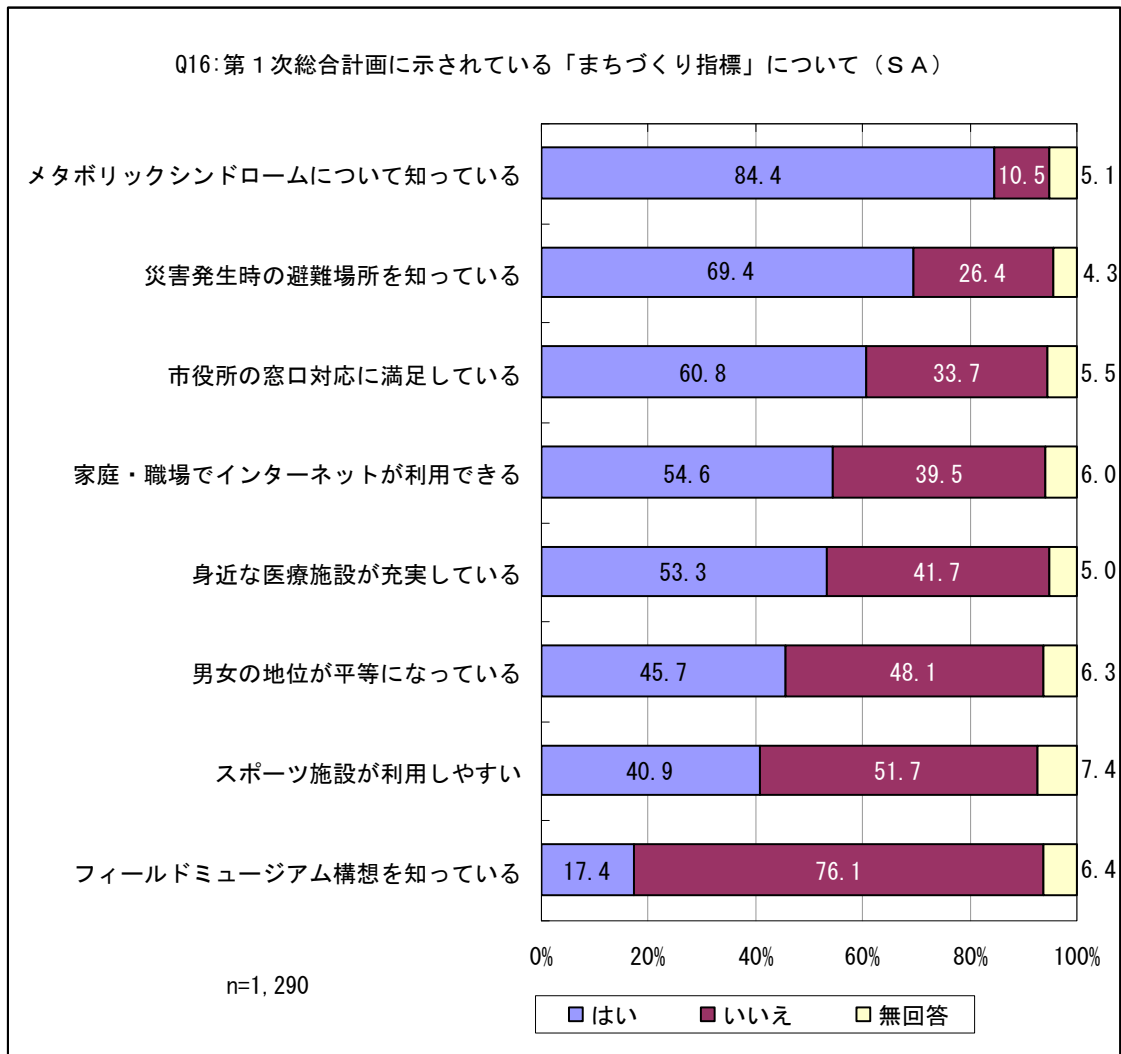
山梨市の将来像として、「10年後どのようなまちであって欲しいか」という問いに対して、「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を望む声が6割を超え（63.4%）、以下「生活環境の整った安全で快適なまち」（27.4%）、「安心して子育てができるまち」（23.3%）、「自然環境と街並みが調和した住み良いまち」（22.2%）を望む声が高かった。保健、福祉、医療、子育てといった生活密着型の政策を望んでいることがわかった。



8. まちづくり指標について

認識度が6割を超えたのは、「メタボリックシンドローム」(84.4%)、「災害発生時の避難場所」(69.4%)、「市役所の窓口対応」(60.8%)であった。

また、一方で「フィールドミュージアム構想」の認識度は17.4%にとどまった。

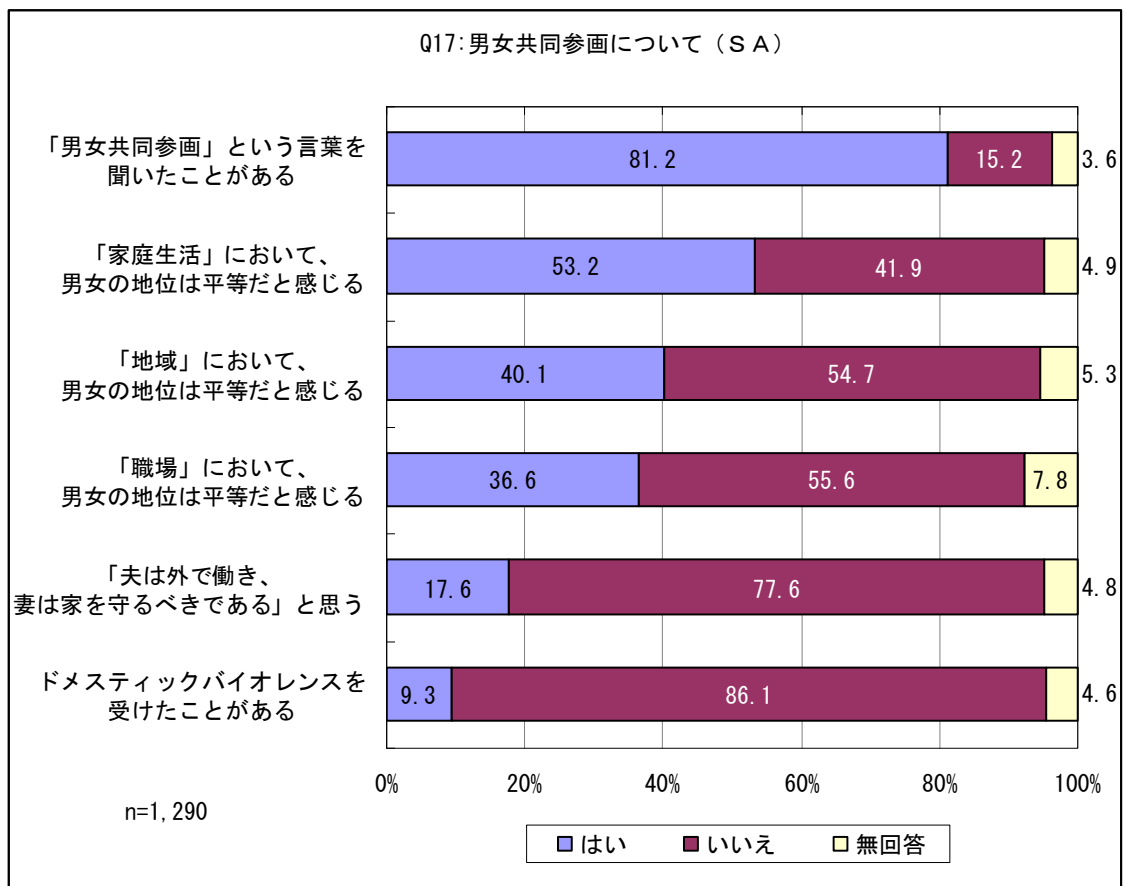


9. 男女共同参画について

「男女共同参画」という言葉の認知度は81.2%と非常に高い。

しかし、家庭や職場などにおける男女の平等感を質問したところ、「家庭生活」は約半数の53.2%で平等であると感じているが、「地域」(40.1%)及び「職場」(36.6%)は低い数値にとどまった。

このことは、意識の上では男女平等であると認識しているが、家事、育児のアンバランスな役割分担や女性に対して格差が残る職場環境の現状を反映した結果と思われる。



山梨市住民意向調査

平成 22 年 1 月 29 日

実施機関：山梨市役所（総合政策課）

受託機関：財団法人山梨総合研究所

- ◎ ご多忙のところお手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 今回、調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの 20 歳以上の方から 2,000 人を無作為に選ばせていただきました。
- ◎ ご回答の内容は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が明らかになることはありません。また、個別の調査結果を公表したり、他の目的に使用することは一切ございません。

《ご記入にあたってのお願い》

1. ご回答は、封筒の宛名の方ご本人が記入してください。ただし、本人が何らかの理由で記入出来ない場合は、ご家族の方が記入してください。
2. 本調査票には、当てはまる番号や回答欄に○印を付けるものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。
設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
3. ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、
平成 22 年 2月12日(金)までに 投函してください。
※ 市役所総合政策課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口にて、直接お持ちいただければ、お預かりいたします。
4. 本調査の趣旨や記入方法などについてご不明の点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

調査に関する問い合わせ先

山梨市役所 総合政策課 政策推進担当（担当：有賀）

〒405-8501 山梨市小原西 843 電話 0553-22-1111(内線2426)

■ 山梨市の魅力や、住みやすさについておたずねします。

問1 あなたが感じている“山梨市の魅力”にはどのようなものがありますか。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

1. 山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている	はい	いいえ
2. 身近な街並みや住環境がきれいである。	はい	いいえ
3. 住民同士の交流や助け合いが盛んである	はい	いいえ
4. 歴史・文化の資源が豊富にある	はい	いいえ
5. 果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている	はい	いいえ
6. 自動車交通の便が良い	はい	いいえ
7. バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い	はい	いいえ
8. 災害への備えに不安がない	はい	いいえ
9. 日常の買物などの便が良い	はい	いいえ
10. スポーツ活動が盛んである	はい	いいえ
11. 公園などの余暇施設が充実している	はい	いいえ
12. 高度な技術を持つ企業が立地している	はい	いいえ
13. 道路や下水施設などの社会基盤が整っている	はい	いいえ
14. 伝統芸能や祭事が受け継がれている	はい	いいえ
15. 学校教育や生涯学習などの環境が整っている	はい	いいえ

問2 あなたは、山梨市の“住みやすさ”についてどう思いますか。あてはまる番号を一つ選び○印で囲んでください。

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらかといえば住みにくい 4. 住みにくい
--

■ 山梨市の主な施策に対する満足度、今後の施策の重要度についておたずねします。

問3 市の施策のうち次の25項目について、あなたが感じている満足度、今後の重要度についておたずねします。すべての項目ごとに、満足度と重要度それぞれ一つずつ〇印を付けてください。

項目	満足度				重要度			
	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	きわめて重要である	かなり重要である	まあ重要である	あまり重要ではない
1. 公園整備、景観の保全	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
2. 文化遺産の保存、地域文化の継承	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
3. ごみ処理・環境美化の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
4. 保健・医療の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
5. 高齢者、障害者福祉の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
6. 子育て環境の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
7. 男女共同参画の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
8. 地域特性のある農業・林業の振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
9. 魅力ある商工業の振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
10. 地域資源を生かした観光振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
11. 義務教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
12. 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
13. 公共交通機関の充実(市営バス等)	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
14. 国道・県道など幹線道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
15. 身近な生活道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
16. 歩道等の整備、充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
17. 案内・誘導表示などサインの設置	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
18. 水道の安定供給	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
19. 下水道などの排水処理	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
20. 公営住宅や宅地の整備	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
21. 防災体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
22. 防犯体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
23. 開かれた行政の推進	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
24. 行財政運営の効率化	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D
25. NPOなど市民活動の支援	イ	ロ	ハ	ニ	A	B	C	D

■ 次に、具体的取組みについて、あなたのお考えをおたずねします。

問4 あなたは、環境問題やエネルギー問題に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 環境保全のための健全な森林づくり	イ	ロ	ハ	ニ
2. マイバッグ運動などによるごみの発生抑制	イ	ロ	ハ	ニ
3. ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進	イ	ロ	ハ	ニ
4. アイドリングストップなどの省エネルギー行動の促進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 企業における環境保全活動の支援	イ	ロ	ハ	ニ
6. 学校や地域における環境教育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
7. 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進	イ	ロ	ハ	ニ
8. 太陽光・風力・小水力発電など新エネルギーの普及促進	イ	ロ	ハ	ニ
9. その他(具体的にご記入ください: _____)				

問5 あなたは、山梨市の産業（農林業・商業・工業）が発展するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 農道や林道、水路整備など、農林業の基盤整備	イ	ロ	ハ	ニ
2. 農林業における担い手の育成	イ	ロ	ハ	ニ
3. 農林業における販売ルートの拡大	イ	ロ	ハ	ニ
4. 地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 農業法人など、新たな農業経営形態の推進	イ	ロ	ハ	ニ
6. 既存商店街の振興促進	イ	ロ	ハ	ニ
7. 大型量販店など商業施設の誘致	イ	ロ	ハ	ニ
8. 既存の地場産業の振興	イ	ロ	ハ	ニ
9. 工業団地整備などによる企業誘致の推進	イ	ロ	ハ	ニ
10. 商店・企業への財政的支援	イ	ロ	ハ	ニ
11. その他(具体的にご記入ください: _____)				

問6 あなたは、山梨市の観光を盛んにするため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 登山やハイキングなど、アウトドアスポーツのための環境整備	イ	ロ	ハ	ニ
2. 観光農園やグリーンツーリズムなど、農林業との連携	イ	ロ	ハ	ニ
3. イベントやお祭りの充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. 地域にある歴史・文化遺産の活用	イ	ロ	ハ	ニ
5. 近隣市などとの広域連携による観光ルートの設定	イ	ロ	ハ	ニ
6. 郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり	イ	ロ	ハ	ニ
7. 接客サービス向上など、おもてなし体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
8. 観光振興を視野に入れた幹線道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
9. 観光情報の発信など、宣伝活動の推進	イ	ロ	ハ	ニ
10. その他(具体的にご記入ください:)				

問7 あなたは、高齢化が進む社会に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 高齢者が参加できるスポーツの振興など健康増進事業の充実	イ	ロ	ハ	ニ
2. 高齢者が有する知識や経験を提供できる生涯学習活動の充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 高齢者の働く場の確保、就労あっせんなどの支援充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. 高齢者向け相談体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実	イ	ロ	ハ	ニ
6. 老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 市営バスなど公共交通機関の充実	イ	ロ	ハ	ニ
8. 高齢者が集い、交流できる施設や機会の充実	イ	ロ	ハ	ニ
9. 段差解消など、公共施設や住宅におけるバリアフリー化の推進	イ	ロ	ハ	ニ
10. 高齢者を支援・介護するボランティアの育成	イ	ロ	ハ	ニ
11. その他(具体的にご記入ください: _____)				

問8 あなたは、安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進	イ	ロ	ハ	ニ
2. 出産や育児後に女性が(再)就職しやすい環境の整備	イ	ロ	ハ	ニ
3. 未満児保育、学童保育や時間外保育など、保育サービスの充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. 小児科や産婦人科など医療体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 公園など子どもを安心して遊ばせることができる環境の整備	イ	ロ	ハ	ニ
6. 子育て家庭への経済的支援	イ	ロ	ハ	ニ
7. 育児に関する相談体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
8. 育児を支援するボランティアの育成	イ	ロ	ハ	ニ
9. その他(具体的にご記入ください: _____)				

問9 あなたは、災害に強いまちづくりを推進するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 地域の自主防災組織の育成・強化	イ	ロ	ハ	ニ
2. 避難所や避難路の周知・整備	イ	ロ	ハ	ニ
3. 耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善	イ	ロ	ハ	ニ
4. 防災情報の伝達体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
5. 給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄	イ	ロ	ハ	ニ
6. 消火栓や防火水槽、用水路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 市民参加による防災訓練の実施	イ	ロ	ハ	ニ
8. 消防団員の育成・確保	イ	ロ	ハ	ニ
9. 救命救急・搬送体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
10. 緊急輸送路の確保・整備	イ	ロ	ハ	ニ
11. その他(具体的にご記入ください: _____)				

問10 あなたは、学校教育・生涯学習の分野で、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で 囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 少人数学級など、きめ細かな教育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
2. 国際理解教育や情報教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
3. 情操教育や道徳教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
4. ボランティアなど、体験的・実践的な学習の推進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 地域の人材や学習素材を活用した教育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
6. 家庭や地域との連携	イ	ロ	ハ	ニ
7. 教職員の資質向上など、教育指導体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
8. 障害児教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
9. 学校における食育の推進	イ	ロ	ハ	ニ
10. 各種講座や催し物などの充実	イ	ロ	ハ	ニ
11. 指導者の確保・育成	イ	ロ	ハ	ニ
12. 図書館や公民館、文化・スポーツ施設など活動の場の整備充実	イ	ロ	ハ	ニ
13. 各種活動の発表機会の充実	イ	ロ	ハ	ニ
14. その他(具体的にご記入ください:)			

問 1 1 あなたは、今後の行政体制・行政運営に対し、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で 囲んでください。

<div style="text-align: center;">必要度</div> <div style="text-align: center;">項目</div>	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
1. 積極的な情報公開による透明性の高い行政運営の推進	イ	ロ	ハ	ニ
2. スリムで効率的な行政体制の構築	イ	ロ	ハ	ニ
3. 職員の資質向上	イ	ロ	ハ	ニ
4. 協働のまちづくりの推進	イ	ロ	ハ	ニ
5. 指定管理者制度の導入など民間委託の推進	イ	ロ	ハ	ニ
6. 地域コミュニティの拠点としての庁舎整備	イ	ロ	ハ	ニ
7. 市民の視点に立った行政運営の推進	イ	ロ	ハ	ニ
8. 国際化への対応	イ	ロ	ハ	ニ
9. その他(具体的にご記入ください: _____)				

■ 市民と行政のあり方についておたずねします。

問 1 2 あなたは、市の窓口サービスの向上について、どのようなことを望みますか。
次の中から取り組みが必要だと思えるものを二つまで選び番号を○印で囲んでください。

1. 窓口の一本化による申請手続き等の簡素化、短縮化
2. 総合的な電話相談窓口の開設
3. 休日や時間外の窓口業務の延長
4. 各種申請や申し込みの電子手続き化
5. 郵便局・コンビニエンスストア等への自動交付機導入による
住民票など各種証明書の発行
6. その他(具体的に記入してください:)

問 1 3 あなたは、今後、どのような公共的な活動に参加したいとお考えですか。
次の中からお考えに近いものをいくつでも選び番号を○印で囲んでください。

1. 地域で行う運動会や祭りなどの行事
2. 住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動
3. 災害時などのボランティアとしての救援活動
4. 高齢者や障害者への手助けや施設でのお手伝い
5. 地域で取り組む子育て支援
6. 自然保護などの環境保護活動
7. 文化財保護やスポーツなどの指導・協力
8. まちづくりへの提言や実践
9. その他(具体的にご記入ください:)

問 1 4 厳しい財政状況下において、行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係についてどのようにお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

	そう思う	そう思わない	どちらとも いえない
1. 厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進める必要がある	1	2	3
2. 既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである	1	2	3
3. 公共施設やサービスなどのコストに応じ、利用者が応分の負担をすべきである	1	2	3
4. 財政健全化のためであれば、行政サービスの見直しは仕方ない	1	2	3
5. 簡素で効率的な行政システムにするため、公共施設の民間委託や事務事業の民営化は必要である	1	2	3

■ 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについておたずねします。

問 1 5 山梨市が将来（10年後）、どのようなまちであって欲しいと思いますか。
次の中から二つまで選び番号を○印で囲んでください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と街並みが調和した住み良いまち 2. 保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち 3. 安心して子育てができるまち 4. 生活環境の整った安全で快適なまち 5. フルーツの香りあふれる農業のまち 6. 商業や流通など、経済活動が活発な賑わいのあるまち 7. 観光資源を生かした交流のあるまち 8. 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち 9. 世界に向かって開かれた国際的なまち 10. ICT(情報通信技術)の活用が進んでいる先進的なまち 11. 地域における互助・協力が行われ、コミュニティが活性化するまち 12. その他(具体的にご記入ください: _____) |
|---|

■ 第1次山梨市総合計画に示されている、まちづくりの指標についておたずねします。

問16 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

1. 男女の地位が平等になっている	はい	いいえ
2. 身近な医療施設が充実している	はい	いいえ
3. スポーツ施設が利用しやすい	はい	いいえ
4. 市役所の窓口対応に満足している	はい	いいえ
5. 災害発生時の避難場所を知っている	はい	いいえ
6. フィールドミュージアム構想を知っている	はい	いいえ
7. メタボリックシンドロームについて知っている	はい	いいえ
8. 家庭・職場でインターネットが利用できる	はい	いいえ

■ 男女共同参画についておたずねします。

問17 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

1. 「男女共同参画」という言葉を聞いたことがある	はい	いいえ
2. <u>※ドメスティックバイオレンス</u> を受けたことがある	はい	いいえ
3. 「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」と思う	はい	いいえ
4. 「地域」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
5. 「家庭生活」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
6. 「職場」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ

※ドメスティックバイオレンス … 夫婦・恋人同士など親しい間で、身体的・心理的暴力を受けること

問18 その他、山梨市のまちづくりや行政運営に関するご意見やご要望がございましたら、次の欄に自由にお書きください。

調査は、以上です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

- この調査票は、同封の返信用封筒にそのまま入れ、
2月12日(金)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。

(切手は不要です)

- 市役所総合政策課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口へ、
直接お持ちいただければ、お預かりいたします。